

建築士

おおいた

新春号



A.P.

「縁起、ひめたるま」

© Kawano 

 社団法人 大分県建築士会

2007 NO 98

CONTENTS

1. 養父信義副会長あいさつ	
2. 伊太利亜 研修旅行記	〈大分支部〉 芳賀 聡・浅野 健治 芳山 智奈・河野 孝一
9. シリーズ 登録文化財 NO.19 萱島酒蔵	〈国東支部〉 菊本 軍治
10. 特集 第20回サマーセミナー in 竹田	〈竹田支部〉 志賀 勝吉
14. 特集 きやどん体験ツアーに参加して	〈日田支部〉 酒井 亜紀
15. 連載「福祉と住宅改修」NO.7	〈津久見支部〉 大村 正壽
18. 個人的図書紹介 Vol.13	〈大分支部〉 笠木 忠昭
20. MY WORK	〈中津支部〉 〈三重支部〉 〈別府支部〉 〈大分支部〉
22. 会員紹介	〈日田支部〉 〈中津支部〉 〈臼杵支部〉 〈大分支部〉
24. インフォメーション	
～別府支部～	岡田 宏基
～大分支部～	岐部 和久
～佐賀関支部～	佐々木 浩
～臼杵支部～	神田 高士
～津久見支部～	津久見支部街並み調査会
～佐伯支部～	志賀 智昭
～三重支部～	後藤 康仁
～日田支部～	貞清 唯行
～中津支部～	松下 明美・長谷川 詳
～宇佐支部～	奥田 和彦
36. 女性部会のPage	〈大分支部〉 中道 了子
38. おおいた建築発掘隊	〈津久見支部〉 津久見支部街並み調査会
39. 九州パッションへの誘い	〈青年部会長〉 後藤 憲二
40. 第21回豊の国木造建築賞	〈津久見支部〉 津久見支部街並み調査会
42. 行政だより	
45. 新会員紹介	事務局
46. 事務局だより	事務局
49. 編集後記	



AP 「世元寺・鐘楼」 ©. C. Doucet



AP 「鹽地・行田」 ©. C. Doucet

木版画でみる竹田百景

この「姫だるま」は旧岡藩の烈女綾女の美德風格を讃えた郷土人形の象徴です。やさしい十二単衣に包まれ、楚々たる姿は縁起の神として魅力的な存在です。全国にも珍しき「ひめだるま」として豊後竹田市唯一の名物となっています。 画 川野 和男



副 会 長 養 父 信 義

11月も半ばを過ぎると、山の端も色彩豊かに若妻の頬を染める黄櫨（ハジ）、稚児の手のひらのような紅葉、黄泉の国を思わせる天空の空から地面一面の黄金の世界、銀杏並木。四季の豊かな日本の中でも一番の秋、美まし国日本。その秋もうすぐ冬の季節に入ろうとしています。

しかし、世情は一足先に冬の季節、昨今の親子の関係、学校教育の問題、いじめの問題、はたまた職業のモラル・理念の低下、目を覆いたくなるばかりです。私たちの業界にも昨年より激震が走りました。士会は個人の集合体です。各々が個々の問題としても深く受け止め、真摯に業務に励むことが建築士の名誉回復に繋がると信じています。会員各位の皆さん方と一緒に頑張りたいと思います。そして、一面の白銀の冬が過ぎ、若葉も芽吹く春となり、郷土大分のキャンパスに「豊の美まし国」を皆さんと一緒にスケッチしましょう。



A.P

「南登小川」

©. 1999



イタリア建築研修旅行記

＜主にナポリ・ポンペイ＞

大分支部 芳賀 聡

「・・・、それでは、よろしいでしょうか？」と次の行動を起こすたび毎に、JTBのベテラン男性添乗員、山田さんの念押しの声が高くなる。毎回、それを忠実に守った甲斐あってか21名全員、8日間のイタリア旅行を無事終えて、11月4日帰国した。

私はイタリアには、古代から文化芸術に優れた国という尊敬と恐れがあった。また、日独伊三国同盟の敗戦国同士（古いかな）で親近感もあり、行って見たい国の一つでした。8月1日受けた支部の連絡はがきで、旅行案内を知りその数日後、様子を確認してから申し込んだ。幹事の松崎氏の努力にもかかわらず締め切り日で17名、目標人数に満たないので、申し込み期限をもう一ヶ月延ばしたという事でした。途中一度の説明会があり、出発当日21名の参加者になったことを知る。内訳は男性10名、女性11名。私が一番の年長者（戦前生まれ）か？無事日本に戻れるかと心配になる。

始めに、一通り旅行行程を示す。

10月28日午後1時00分成田から直行便でミラノへ、シベリア上空を通り飛行時間13時間。29日までサマータイムとのことで日本との時差7時間。ミラノに着いた次の日は市内観光。ゴシック様式建築のミラノ大聖堂（ドゥオモ）を見学する。ミラノに二泊した。



神殿から眺めたヴェスヴィオ火山

30日はペローナを経てベネチア（ベニス）へ。途中、今回の建築研修旅行のハイライトでありました、ブリオン家墓地を見学。この作品に触れただけでも、今回の研修に参加した意義があった。ベニス一泊。

31日ベニスを半日観光してフィレンツェへ。一泊。11月1日、フィレンツェは日本のお盆に当たる日で街は混んでいた。ルネサンス発祥の地でダ・ビンチやミケランジェロといった巨匠達の作品とドゥオモ（大聖堂のこと）など建築遺産を見学。その日の午後ユーロスターでローマへ。着いてすぐ、トレヴィの泉とスペイン広場を見物。ローマの二日目の2日は市内観光やオプションツアーなど自由行動。私はナポリ・ポンペイのツアーへ参加した。希望者が多いと予想していたが、当会からは二人だけだった。ローマ二泊。

3日ホテルを午前10時45分出発、ローマから飛行機で帰途へ。乗り継ぎのためアムステルダムへ寄る。成田へは4日午後3時50分着（日本時間）。飛行時間約11時間。

前段の方は他に譲るとして以下、ナポリ・ポンペイを主に報告し、合わせて、イタリアを旅して感じた事を記す。拙い文章の上、中には勘違いや、間違いがあると思いますので、ご指摘を頂ければ幸いです。

ご存知の通りイタリアは長ぐつ形の形をした南北に細長く、なんだか日本と似ている国だ。

国土の面積は、凡そ、日本全土から北海道分を減じた広さである。人口は5,700万人、日本の半分以下だ。欧州連合（EU）に属し、通貨はEUの単一通貨であるユーロ、言語はイタリア語である。1ユーロは150円前後。水道水は飲めるらしいが、ミネラルウォーターが無難とのこと。500ml入りを毎日数本買い求めて飲んだ。値段は1～5ユーロ、ワインやビールより高くなる場合もあった。

気候は日本より緯度は高いが（ローマで函館と同じ）大分の秋とほとんど変わりがなかった。最後の一日を除けば、ほぼ、好天に恵まれ、汗ばむ日もあった。

ナポリ・ポンペイツアーはローマから他ツアー客と一緒に、バス1台で、11月2日朝7時30分出発した。19名の客とローマ在住の日本人女性添乗員1名である。昨日までは良い天気だったが、今日は一転、雨が降りそうな空模様と寒冷前線の影響で寒い日となった。

バスは高速道路（太陽道路）を一路南下した。道路の両側はブドウ畑が広がる。白っぽい緑の葉をつけたオリーブ畑もある。油を搾る実の収穫は終わったらしい。山の中腹や頂上辺りに古城や修道院が点在する。ローマ時代の古道も見えた。アッピア旧街道である。「全ての道はローマに通じる」は有名な言葉である。石畳の道の両脇には松並木が続く。一寸、今市や久住の旧参勤交代の道路を思い出す。松並木の松は赤松に似ているが、日本の松の枝振りとは違う。上部だけに多

くの枝葉が繋がって一見、笠を載せた形なのだ。故に、笠松と言うそうだ。

3時間半でナポリに着いた。今にも雨が降りそうな曇り空だ。そのためか、ナポリ湾やその周辺がくっきりと、よく見えた。しかし、寒々しい景色だ。南国のイメージでいたのでガッカリ。バスからは写真を撮るのに1回降りたきりで、治安が悪いためか、車窓からの市内観光となった。これでは「ナポリを見て死ぬ」という有名な言葉は意味を成さないのではないかと思った。ナポリは人口約150万人でイタリア第3の都市。海岸からすぐ崖である。平地は少ないようだ。しかし、国内外の大富豪の邸宅や別荘が多いとのこと。車内からも、それと思われる庭園に高級車や私兵の姿を見掛けた。

港には、大型豪華客船が4隻ほど停泊していた。ナポリは海水浴場ではなく、お金持ちがヨットや船遊びをする所とのこと。広いヨットハーバーもあった。日本でも、今、話題になっている「格差社会」の貧富の差はイタリアではもっと広がっているようだ。

あの有名なソフィア・ローレンはナポリ生まれ。ナポリ生まれの女性は皆、女優の素質を生まれながら備わっているとのこと、肯ける。

イタリアでは珍しく、ナポリ市街中心部で超高層ビル群の建設中の現場を目にした。訊くと市街地再開発事業を進めているようだ。設計は、なんと、われ等の誇る、日本の丹下健三（最近亡くなられたので、グループ）とのこと。戦争で傷んでいた建物や、老朽化した住宅など取り壊した跡地利用らしい。

昼近くナポリを後にした。途中、カメオ専門店に寄るが、私の財布の中身では手にすることも出来ず、見ただけ。ポンペイまでは意外に近くて、昼に着いた。美味しいパスタ料理と迫力あるカンツォーネを満喫した後、坂道を登って遺跡の入り口の門をくぐった。

昼食時、雨は降ったが、今は止んで、傘を開かなくても良さそうだ。現地ガイドの女性1名も加わった。しかし、その女性から、最後まで一言の説明もなかった。専ら、ローマからの添乗員が詳しく案内をしてくれた。後から訊くと、イタリアは法的に現地ガイド（見掛け上でも）でないと違反になるらしい。

ヴェスヴィオ火山（現在の山の高さは1,278m）の大爆発が起きたのが西暦79年、その後1,700年間灰に埋もれたままポンペイは眠っていた。18世紀に発掘が始まったが、当初は財宝や価値のある美術品などが目当てだったらしい。そのためか、ローマ法王から中止命令が出ている。その後、1,860年以後本格的な発掘を行い、今、目にする遺跡が出現した。

先ず、驚いたのは、死んだ奴隷の（石膏取りした）

姿だった。鎖もされている。逃げられなかったのだろう。灰に埋まる前に大半の人々は避難した。しかし、奴隷やお金のない人たちは出来なかったという。

高い文化と裕福な生活をしていた古代都市ポンペイ。遺跡から一目瞭然そのことが判断できた。巨大な神殿、劇場、そして円形闘技場。市民生活面では、整然と格子状に区画された街並み、その中に、今でも、廻せるような石臼を4台ほど備えたパン屋、洗たく屋、居酒屋などあった。公共なものでは、水洗式便所、浴場、また、娼婦の館もあった。



灰に埋まって亡くなった人の石膏形

建物の現状の姿は溶岩が流れて来て、溶けたわけではなかったから、柱や梁、壁の一部が残っているもの、床や礎石だけのものなど、様々であった。数は少ないが、ほぼ原形をとどめるものもあった。大噴火でレキと火山灰がうず高く積もったことを考えれば、その荷重に耐えられない建物は当然、崩壊したでしょう、屋根などは瞬時に落下したことでしょう。感心したのは、公衆浴場の建物は屋根も壁も大きく壊れている様子はなかった。この建物は石造のようだが、屋根の形状がドーム型になっていた。そのため多分、荷重の応力を巧く分散出来たことが、崩れなかった原因と思った。永い間、灰に保護されたお陰か、壁画も綺麗に残っていた。



ポンペイ遺跡の街の様子と水道施設

道路は車道とその両側には歩道があり、すべて敷石で舗装され、踏み石を配して、横断歩道も設けてあった。面白かったのは、娼婦の館の道案内として、道路の敷石の表面に、男性のシンボルを彫ってあった。同じものが、要所毎にあった。その向きの通りに行けば、辿り着ける仕組みだ。

帰り頃、太陽も顔を出すほど天候も回復してきた。神殿の列柱の間から、雄大なヴェスヴィオ山の姿がきれいに眺められた。例えば悪いが、ここは、別府市や大分市とその背後にある鶴見、由布岳の配置関係と似ていると、つくづく思った。災害は、いつ何処でも起きる。日々、用心したいものだ。

美しい夕日を車窓から眺めながら、気持ちはローマでの「最後の晚餐」であるカンツォーネ・ディナーの乾杯まで戻れるかと心配だった。いろいろと配慮してもらったお陰で、店にはローマにいた方々より早く着いた。美声と美味しいワインを堪能出来た。

イタリアは何処へ行っても、文化遺産的な建築物、絵画、彫刻などの芸術作品で溢れている。なんと、羨ましい限りである。大分に一つ、大理石の彫刻一体でも持ち帰りたかったくらいだ。

しかし、次のことも書いておきたい。

イタリアは何処へ行っても、落書き、ゴミ、路上駐車（違反駐車ではないような？）が多い。

落書きは住宅、商店などの外壁、塀、公共建造物にも、あらゆる物が被害に遭っているようだ。何の意味があるのだろうか？ゴミは何処にも落ちているのが目に付いた。ミラノで、ワールドカップを開催したというスタジアムを見学した時、たまたま前夜サッカー試合もあってか、広い駐車場が一面ゴミの山になっていた。現地ガイドさん曰く「今日中には綺麗になります」だって。大きなショベルカーでも使って処分するのかな？大分の九石ドームでは考えられない事でした。

世界遺産のある観光都市として恥ずかしくないのか？と、思う。「日本一きれいなまち」運動を進めている、わが大分市に帰って来たとき、きれい過ぎ!!と思った程でした。

車の駐車の件は深刻のようだ。大半の車の所有者は車庫または駐車スペースを持ってないし、造れないそうです。その理由は、市街地の建物はすべてと言っていいくらい古い石造か、コンクリート造ばかり、その上文化的遺産もあり、簡単には増改造も出来ないし、ましてや解体、建替えは、なお難しいとの事でした。大概の都市は旧市街地では新しい建物は建てられないそうです。故に一台当たり3m×5mの僅かなスペースの確保も出来ずに、片側二車線の道路であれば一車線を占領し、歩道、街路緑地帯などの空地は車で溢れていました。このことを、別の見方をするならば、先祖の

遺してくれた財産に胡座をかいて、その上、都合が悪くなれば先祖のせいになっている。と、思いませんか？

次に、スリが多い。大勢人が集まる所は、当然としても街の通りなどでも、被害に遭う。

イタリアではスラれた人が、悪人呼ばわりにされるそうだ。今の、日本のことを考えれば、エラそうなことは言えないが、被害に遭って困っている、善良な旅行者を悪人にしないようお願いしたいものだ。が、日本人はスキだらけで、一番に狙われ易いそうだ。心したい。

JTBの山田さん曰く「日本の常識は、世界の非常識」だそうだ。国外に出てみると、その意味が良く分かる。旅先で、心こまやかなサービスなど、期待するなど厳禁である。私は、トレヴィの泉ではコインを一回しか、投げ込んでいない。イタリアの良し悪しは別にして、お呪いを信じもう一度、ローマに来たいからである。

とにかく、無事に帰って来る事が出来ました。イタリアで御世話になった方々に“Grazie”

最後になりますが、胃に穴が穿く程、面倒をみてもらったJTBの山田さん、JTB大分、士会関係者、多数の方の労に感謝とお礼を申し上げます。また、楽しく同行させて頂いた方々にお礼を致します。

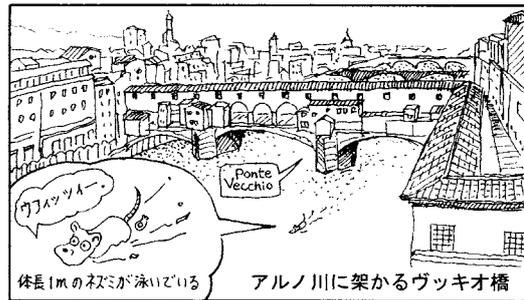


速 報

別府支部 浅野 健治

フィレンツェ お財布テロ【TERRO】事件

古代にはエトルリア文明が栄えたトスカーナの州都であり、ルネッサンス発祥の地である古都フィレンツェ。あらゆる意味で芸術に溢れダンテ・ミケランジェロ・ドナロッテ・ロレンツェ・マキアヴェリなど歴史に名を刻んだ著名人がキラ星のごとく浮かび上がってくる。そんな思いに浸っていると・・・それは、とうとう起こってしまいました。



反省のことは

はっきり言ってイタリアを海外旅行を、なめきっていました。メディチ家コノヤローなんて思っていたからね。

イタリアに行かれる方は失敗した方に相談するのが良いでしょう。そのときの心理状態や町並み・人通りなどの状況によって、必然的に起こりうるものであることを克明に説明できますし、事後の空虚感の味わい深いものは経験者でなければ理解できないからです。

イタリアについて

イタリアは世界遺産の塊みたいなものですが、その本随はもっとずーと奥のほうにあるように思えます。この国がなぜ、デザインに対してこれほどまでにセンセーショナルなのか。いまだにプライムタイムを維持しているのか。1度のツアーでは理解することはできないでしょう。取りあえず今回は懲りたので、5年後のパリを目指します。

イタリア旅行記

大分支部 芳山 智奈

【城壁に囲まれた美しい町ーフィレンツェー】

何処からともなく聞こえてきた鐘の音が赤茶色の屋根で統一されたフィレンツェの町上に遥か遠く響き渡り、とても幻想的な心地の良い朝だったのを思い出します。



アルノ川外側の城壁



丘の上より霧雨にけむるフィレンツェの町

「フィレンツェ」がこのように美しい町並みをしているのは、「ドォーモ」の高さ以上の建築に規制があるからだとして女性ガイドの「フクオカ」さんが説明してくださいました。更に貴族が高さを競って建てた（3階建て4階建てが多い）という家々は、細い路地にひしめき合う様に立ち並び、辺りそこら中12世紀やら14世紀やらの建造物で歴史的価値があり、改築するにも厳しい規制があるそうです。

その為、現代の人々は古い建物を上手く利用して内外装をやり変えており（右上側写真）白壁の角にあるレンガ調の模様のように質感の違う昔の建物の外壁をそのままデザインとして残したりしているそうです。現代的に生まれ変わった建物も歴史を感じさせるフィ

レンツェの町並みと見事に調和していました。隣の円筒形の外装も同じ様な手法で所々に見える肌色の壁は古いものだそうです。ちなみに、ここの1階はレストランで内装も素敵なガイドさんお気に入りのお店だそうです。残念なことに店内は見学できず窓越しに映った雰囲気のある照明がセンスの良さを物語っているようでした。



フィレンツェ建物の特徴はなんとといっても赤茶の屋根ですが、下から見ると「垂木」が見えているものが多く、素材は木や素焼きレンガと様々で先端のほとんどは西洋らしく繊細に彫刻されていました。

石造りの家ばかり見てきたせいか、日本と似ている部分がある事になんとなく落ち着く感じを覚えている自分が可笑しかったです。

【ウフィッツィ美術館ーフィレンツェー】



メディチ家コレクションが展示されているこの美術館で想像以上に圧巻だったのは、エルメスのスカーフのデザインになったという天井画で、壁に展示されている絵を見ながら説明を聞いている時以外は、上を向いたまま口が開きっぱなしだったような気がし

ます。美術の歴史に詳しいフクオカさんの話は非常に判り易く、1200年代に平面的に描かれていた画は1300年代から主要人物を立体的に描くようになり、1400年代になると立体感の中にも遠近法などの高度な技が取入れられるようになったそうです。ジョットの「マエスタ」（上）は立体的な手法が取入れられるようになった典型で、中央に構える「マリア」には膝や胸の膨らみを感じられるが、対照的に周りの人々は二次元的に描かれているそうです。説明があると美術も関心度が大きいに高まり「なるほど」の連発、特に意外だったのは、この頃「天使の羽」が白だという概念はなくカラフルに描かれているという内容でした。

ところで疑問なのは展示されている絵の内、「キリスト自身」を描いた作品よりも「聖母マリア」に関するものが多く、また同様に教会名を挙げてみても「マリア」の名が付くものが無数にあり、「キリスト教」というものに馴染みもなく感覚的に全くつかめなかった私にとっては、何故かその事が気になって仕方なかったもので、帰ってから興味のある内にと少し調べてみました。聖書の内容はやはり複雑で頓珍漢なのですが、私の読んだ本の内容によると「聖母マリア」は将来、神の子を宿す大切な女の子として「箱入り娘」以上の箱入りで育てられたそうです。「キリスト」は結構過激な性格で弟子にキレたりしてるようで、私の想像していた「微笑みの神」的なイメージとは意外すぎて面白かったです。



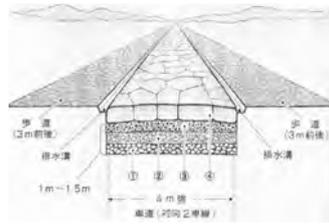
ウフィッツィ美術館で一番の喜びはこの「ヴィーナスの誕生」を見られたことです。思わず見とれてしまう美しい「ヴィーナス」とは英名でギリシャ神話名は「アフロディーティ」だそうです。神話の中でも彼女の生い立ちは特別とされ、その名は泡を意味する「アプロス」に由来するそうですが、何故「泡」なのかは・・・オホホ。

奔放なギリシャ神話らしい驚きの内容なので、「愛」の象徴である意味は納得できます。そうして生まれたアフロディーティの美しさに魅せられた西風が他の神々の所へ彼女を運んだといわれている何ともロマンチックな物語（画）でした。私はギリシャ神話の内容を知らなかったもので、この「ヴィーナスの誕生」がきっかけでギリシャ神話にもはまりそうです。

【イタリアといえば古代ローマ帝国 -ローマー-】

正直なところ、この旅行を決めた時に「イタリア」の歴史についてはもちろん、デザインや建築史においても必要な知識が自分にはこれっぽっちもなく焦りました。そこで、せめて一つだけでも勉強してから行こうと思い、とにかくイタリア知識を求めて本屋に入ると、目的そのものの題名で「すべての道はローマに通ず

(上) 塩野七生」なる単行本が目の前に・・・でも上ということ。なんて先は考えず、これだけでも根気良く読めばどうにかなんと普段は気にもしないだろう本を買ってみました。（文庫本より抜粋；上）



その内容が驚いたことに、ローマで道が造られた際には水平器など現在の測量器具の原型にもなっている道具が利用され、排水も考慮し側溝のほか車道は粒の異なる砂利を層にして敷き詰めたと書いてありました。また、道を造る理念についてや建設費についてなどが読み易くまとまっており、既にこの時代において現代でも利用できるような「道」が完成されていたそうです。実際、言われなければ気づかないほど違和感なく存在していたので、ほんの少し知識が出来た私は「これがマイル塚」とか「今、自分が立っているこの道の下が4層に成っているのか」など想像し、運命的な本のお陰で自由行動の最終日も充実感を味わうことができました。ちなみにこの本、続きは「水道」についてだそうです。



学生の頃、社会科の勉強が特に苦手な拒絶反応を示していた私からは考えられないほど「歴史」が身近に感じられるようになり、何よりも「面白い」と思える事が驚きです。昔に習った教科書の内容が、糸が繋がっていく（ちょっと大げさですが、）そんな貴重な「きっかけ」と「幅」を今回のイタリア旅行では数え切れないほど頂いたと思います。たった一つの画を思い出に取上げてみても1日では知り尽くせない程の奥深さがあり、イタリア縦断5都市の旅を企画するにあたっては色々な苦勞があったかと思えます。出発以前よりお世話下さった松崎さんをはじめ、この一週間で共に過ごした皆様に心よりお礼申し上げます。

VIA DI S.GREGORIO (グレゴリオ通り)

『グレゴリオの白ワインは美味しい』とは書いていないようです。



ナポリ湾からベスピオス山を望む

研修旅行に参加して

大支部 河野 孝一

私事、今回が2回目の研修旅行となりました。

前は中国の研修、今回はイタリアの8日間の研修と有意義な時を過ごす事が出来、ありがとうございます。

まずは今回計画していただいた役員の方へお礼申し上げます。

時節は日本と余り変わらない10月下旬から11月下旬と寒くもなく暑くもなく、又工程的にも休みの取れ易い日程を組んで頂いたのはよかったですと思いましたが、参加された方が20名余りと少なかったのが残念でした。

旅程はミラノ、ペローナ、ベニス、フィレンツェ、ローマへとイタリアを縦断する旅。初日のミラノへの約12時間の長旅、喫煙者にとっての苦痛。はたまた、エコノミー症候群なるものも経験した旅でもありました。

翌日からは、建築にも詳しく丁寧に説明されるガイドさんに依る建物の研修。見る物・聞く物全てがお伽の国へ来た様なすばらしい外観をした建物群が並んだ

壮絶さには驚きました。

又、6日目のオプションツアーには、ナポリの町、ポンペイの遺跡見学を選択したのですが、早朝よりバスに揺られローマよりナポリへ、ナポリからポンペイへの長旅ではありましたが、ナポリの町が一望できる地点へ降り、ナポリの町からベスピオス火山、カプリ島までの風景のすばらしさは、一見する価値がありました。

次にナポリの町中を車窓から見学し、ポンペイの遺跡へと、これ又、1600年前にベスピオス火山の噴火により、埋もれていたと言われる石積の建物群跡、道路は石を並べ碁盤目に整備され、歩道も完備されており、住居には雨水を有効活用する施設等があり、又、パンを焼く建物跡には粉にする石臼や釜が設けられていたり、私が最もおもしろく感じた建物跡は遊郭跡と言われた所で、壁に絵で所作を表示してあった事です。

この偉大な町を形成した先人の技術力は、想像もつかぬことでした。

現在も遺跡は発掘しているとの事で、立入禁止とされた所もあったが、原型がはっきりとせずに石が組み立てられず、放置した状態であった。ポンペイ遺跡の見学は、半分程度ではありましたが、昔の建物群跡のすばらしさには感動した旅でありました。



ベニス：サンマルコ広場にて



ポンペイ入り口

シリーズ 登録文化財 No.19

「萱島酒蔵」

国東支部 菊本 軍治

国東市国東町網井にある清酒西の関醸造元『萱島酒造有限会社』の建造物（13箇所）は、平成9年10月に文化庁指定の登録有形文化財に登録されました。そこで今回建物概要を紹介したいと思います。

会社名：萱島酒造有限会社
所在地：国東市国東町網井
代表取締役：萱島 進（5代目）
創業：明治6年（133年）
敷地面積：約4000坪

◇ 建物内容

①穀蔵（仕込み用蔵） 大正10年築造

土蔵造り（壁厚40cm）



穀蔵

②住居 昭和8年築造 木造2階建て

③煙突（8角形） 大正14年築造

直径2mぐらいありますが内径は50～60cm程度です



8角形煙突

④仕込み蔵 大正2年築造

当時は棟上後1週間酒を飲み飽かしたそうです



仕込み蔵

⑤冷蔵室 明治27年築造

天井裏に粉殻を1m入れて断熱材の代わりに使用

⑥麹室 明治27年築造

今年7月に耐震改修をしました

⑦旧麹室 大正4年築造

⑧貯蔵室 大正4年築造

今年7月に屋根、内壁を改修しました。土壁（厚40cm）を残し、内壁に杉板を張ったそうです。又外壁はレンガ造りだそうです。



貯蔵庫

⑨酵母室 明治27年築造

空調機を使用し、常に温室10℃を保っています。

⑩裏門 大正3年築造

⑪井戸囲い 大正3年築造

⑫北蔵 明治39年築造

昨年夏、屋根改修をしました。



⑬外堀 戦後築造



今回、萱島社長にお話を聞くなかで一番大変なことは何ですか？という質問に『建物を維持、管理していくこと』と言っていました。以上

水・湯・自然、奥豊後の里巡り『原点に帰ろう!』

第20回 サマーセミナー in たけた

開催地 竹田市神原『あ祖母学舎』

開催日 平成18年9月9日・10日

竹田支部 志賀 勝吉

経過報告

①準備段階

第20回サマーセミナーinたけたに多数の皆様の御参加をいただきまして誠に有難う御座いました。今回のテーマは『原点に帰ろう』で、当地竹田の魅力一杯の自然に触れ合っていたらこうと支部一丸となって準備をしました。山の中で開催する手作り感覚まるだしのセミナーに果たして何人の参加者がいるのかと危ぶみながら準備を続けましたが、予想以上の御参加を頂き、ホッとしました。当日はあいにくの雨となってしまい、誰が雨を呼んだのか雨男探して支部にて一悶着ありましたが、たいした量の雨ではなく、各分科会を無事開催する事ができて幸いでした。懇親会はBBQ、流し素麺大会、各種ゲーム、盆踊り等で盛り上がりました。夜なべ談義においては会場が街からかなり離れた山奥にあったため(半ば軟禁状態ではありましたが)、他支部の皆様方の御好意によるコンサートで静かに盛り上がり、御参加の皆様方に御満足いただけたと思います。

御参加の皆様方、流し素麺大会を開催して頂いた三重支部の皆様方、各支部からのお土産・差入れ、夜なべ談義でのパフォーマンス等など、皆様のセミナーへの積極的な参加があったので成功したのだと思います。誠に有難う御座いました。

最後に竹田支部の皆さんお疲れ様でした。老いも若きも一致団結してがんばりました。この場を借りてお礼申し上げます。



実際の準備は1年半ばから始まりました。青年部の有志が隔週1回夕方から集まり、あーじゃねえ こーじゃねえ、こーしたらどうじゃろか あーしたらどうじゃろかと討議を重ね、7月の案内状送付の段階で週1回、盆明けてほぼ毎日、夕方から夜遅く迄がんばりました。



開催日前日には、三重支部の有志の方々が流し素麺の会場設営を行いました。頭が下がります。



雨男は誰か？全員で討議中。全員一致でたぶんあの人（S氏）若しくは前日の行いが非常にいかがわしかったあの人（T氏）でも晴れ女がいたのでたすかりました（受付してたS嬢）



当日悪天候が予想されたため、グラウンドで予定していた懇親会場を急遽変更しました。会場設営には竹田支部の皆様で総出で当りました。

②セミナー当日

皆さんよく迷わずにこんな山奥の会場まで到着したなあと感心しきり。悪天候で申し訳ありません。



体育館で式典を開催。牧竹田市長を始めとする来賓各位の挨拶、スケジュール説明の後、早速各分科会へ。

(1) 第一分科会 陶芸コース

瀬川講師の指導の下、皆さん、ろくろや手捻りで見事な作品を制作していらっしゃいました。



(2) 第二分科会 竹田名所旧跡コース

小雨のバラつく中、竹田の街なみや旧跡を見学していただきました。岡城趾から武家屋敷通りを通って愛染堂へ。観光協会にボランティアガイドをお願いして説明してもらい、最後は竹田温泉に御案内し、散策の疲れを癒して頂きました。



武家屋敷通り



旧竹田荘



廉太郎トンネル

(3) 第三分科会 名水・滝コース(荻)

こちらも小雨が降る中、白水ダムから円形分水、白水の滝を廻りました。自然とのふれあいという点ではこのコースが一番あったと思われます。コースの最後に荻の里温泉で寛いでいただきました。



霧にむせぶ白水ダム



白水ダム説明中（結構長め）



BBQの様子



白水の滝



盆踊りの様子

懇親会

分科会の後、青年部長会議・分科会報告会を無事終了し、懇親会に移りました。江上副青年部長の司会で進行し、懇親会では開会挨拶、乾杯の後、BBQでにぎやかに盛り上がりました。途中、三重支部主催による大根性流し素麺大会（感謝!）、地元愛好家による盆踊り、各支部長対抗椅子取りゲーム（優勝：宇佐支部長）、ジャンケンピコハンマーゲーム（優勝：宇佐支部）を行いました。特に椅子取りゲームはいい年こいたオジサンたちの白熱したバトルが繰り広げられ、大変盛り上がりました。

懇親会の締め括りとして花火を焚いて、過ぎ行く夏を参加者全員で惜しみました。



三重支部主催 大根性流しソーメン大会（感謝!!）
大変美味しかったです



BBQの様子



おじさん達やる気マンマン
がんばってね!



椅子取りゲーム火花散る白熱のバトル
意地と意地とのぶつかりあい、ヒートアップ



ジャンケンピコハンマー（美女と野……）
山村さん盛り上げてくれてありがと



夏を送るロマンチックな花火
ちょっと短かったけど……



最後に青年部部会長の挨拶を頂きました

夜なべ談義

会場が山奥な為、街に出る事が大変難しく、必然と多くの方に夜なべ談義に参加していただきました。佐伯支部の井上支部長、別府支部の新山さん、宇佐支部の渡邊さんをはじめとし、皆様に壇上にて盛り上げていただきました。



佐伯のクラブトン



夜なべ談義会場の様子

この後三々五々それぞれの寝床に向かいました。翌日、朝食をとった後、解散いたしました。（本当に、朝まで夜なべ談義をしたのは竹田支部の人間が主でした。寝入りっぱな大変やかましくてごめんなさい。皆様にお詫び申し上げます。）

次回は日田支部の開催です。
会員全員で盛り上げていきましょう。



きやどん体験ツアーに参加して 体験を通じ「森の伝達者」を育成

日田支部 酒井 亜紀

総合林業会社トライウッド(井上伸史社長)は、平成18年8月26日と27日の二日間、林業体験イベント「第17回きやどん体験ツアー」を日田市上津江町で開き、地元大分をはじめ福岡、佐賀県から家族連れなど13名が参加した。日田市の津江地方では、昔から山仕事に携わる人のことを「きやどん」と呼んでおり、参加者は下草刈りや箸づくり、蕎麦打ちなどを体験した。井上社長が「木をどうやって育てるのか、どういった仕事をしているのか理解を深めてもらいたい。この体験を楽しんで良い思い出をつくってください。」とあいさつした後、今年入社した牧田絵里子さん(加工生産課)が「森は海の恋人」をテーマに講義し、森と海がどのようにつながっているのかを説明した。続いて、杉や栗の木片を使って「my箸」、自分だけの箸を作った。参加者のひとは、久しぶりに使う小刀に悪戦苦闘しながらも「自分だけの箸をずっと使い続けたい」と愛着ぶりはかなりのものだ。その後、「もやいの森」に移動した参加者は鎌を手に雑草木の下刈りを体験した。植林したばかりの杉苗木のための下刈りは、夏の太陽と雨で草がどんどん生い茂るために暑くてきつい作業である。溪流釣りした後、ペンションで一泊。ようやく、一日目が終了した。

「山の恵み」を釣りに上げる



翌日、同社の会議室に移動後、「基地づくり」と題した左官作業を体験。これは同社が開発した自然壁素材「木粒子」を使ったもの。「木粒子」は、風倒木や間伐材

など建築材として不適な資源の有効利用と、焼却無害、産業廃棄物を減らす環境配慮型のリデュース商品として開発したものであり、間伐材を粒子状に切断して、その粒子を接着成型剤と混合した木質系の新製品である。初めてコテを持ち、壁に塗ってみると、以外に難しく四苦八苦しながらかなり味のある？腰壁が完成した。



参加者は再び、もやいの森に移動して「蕎麦づくり」を体験し、自分で打った蕎麦を昨日作った「my箸」で食べ、よりおいしく感じたようだ。これで全工程が終了した。

この森林体験ツアーでは長年「きやどん」として働く同社社員がツアースタッフとなり、山の育て方や山を育てることがどんな風に私たちとつながっているのかということを体験して知ってもらおうという企画である。森林が土を作り、水を生み、川を育てて海を豊かにする。私達が暮らしているこの社会は様々な関わりで構成されており、山とともに生きる私たちも多くの関わりに支えられている。

きやどん体験ツアーに参加して、森林体験をするだけでなく、参加した一人ひとりが森林に興味を持ち、自然の大切さを知り、山仕事の大変さを知りそれをひとりでも多くの人に伝えていくことが必要だと感じたツアーであった。



***** 津久見支部 正会員 *****

福祉住環境コーディネーター 大村 正壽

高齢者・身体障害者のための住宅改修の参考になると思われる住宅機器を未熟ながら取材(?)してきた。

「キッチン、洗面化粧台、トイレ、浴室と出入り口」に限定して大分市内の3メーカー【東洋陶器(株)、松下電工(株)、(株)INAX】のショールームへ伺いました。

各メーカーのショールームの担当者の方に「建築士おおいた」にて載せるため、上記の製品で「高齢者・身体障害者のための商品」を教えて欲しいとお願いした。

また、主に各社の特長ある製品についてお尋ねした。

1 キッチン

東洋陶器(株)

●座って使えるキッチン(車椅子には対応はしてない)



松下電工(株)

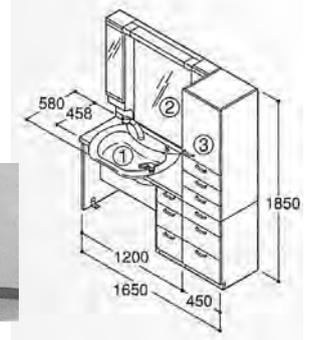
●車椅子に座った姿勢で作業がラクにできるよう高さや深さなどに配慮



2 洗面化粧台

東洋陶器(株)

●使い勝手に合せて、後付けも、取り外しもできる扉キット



●立っても、座っても、快適な高さにレバーで調節



松下電工(株)

●「収納・オープン両用プラン」なら、扉のつけ外しによるプラン変更が可能



こんな方にもおすすすめします。
 ●ご自宅に建て替えるにあたっての設置等
 ●扉のつけ外しを想定して作られたフォーム等
 ●扉のつけ外しを想定して作られたフォーム等

INAX(株)

- しっかりと膝の入るにニースペースで、洗顔も、腰掛けてゆっくりと



- 車椅子で使うことを最優先に考えた洗面化粧台、身体になじむ形状で、たち姿勢でもラクに使えます



- アプローチのしやすさに配慮した右寄せ排水

車いす対応洗面器
車いす使用者の使い勝手と快適さを配慮した洗面器です。

車いす対応洗面器 L-365
¥21,400(税込¥22,470)
※小売価格 ¥217,900(税込¥228,795)

※セット価格には水栓、手すり、非金具、壁などが含まれます。
※手すりの手すりにはKF-312E70/N90となっています。

アプローチのしやすさに配慮した右寄せ排水、手の届きやすい吐水位置、ひじや腕をのせやすいふち形状など車いすでの利用を最大限に考えました。

3 トイレ

東洋陶器(株)

- 便座が上下し立ち座りがラクにできるので、ひとりでも安心してトイレに行けます。

(身体状況に合わせて、斜め、垂直の昇降方法を選べ、現場にて切り替えできます)



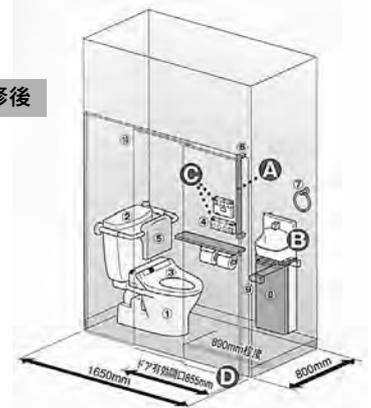
- トイレを使う際のついたて式目隠し (紙巻器付)



- 寝室からトイレが遠くて移動が大変な場合、トイレの移動や介助の負担を低減するために、寝室の押入れをトイレに改修。

(800×1650)

改修後



松下電工(株)

- アームレスト付



(写真はホワイト、Mシリーズ)

- トイレガード



INAX(株)

- 車椅子対応防露便器 (便座H450)



4 浴室

東洋陶器(株)

- 座ったまま気持ちよく入浴できる、身体に優しい全身シャワー(椅子付タイプと水まわり用車椅子、シャワーチェア対応タイプあり)



松下電工(株)

- 座シャワーで安全・簡単に、入浴の心地よさを(椅子付タイプと水まわり用車椅子、シャワーチェア対応タイプあり)



INAX(株)

- 10ヶ所のノズルから霧状にお湯を噴出。シャワーだけで、浴槽入浴のように体全体を芯まで温めます。使い方もシャワーチェアに腰掛けたままでとてもラクです。



5 出入り口

東洋陶器(株)

- 引戸の操作性・安全性とドアの省スペース性の両者の長所を併せ持った、まったく新しい構造のドア。(引き込み戸)



※製品の説明文は各社のカタログを参考に記載した

◎ご協力下さったメーカーは

- ・東洋陶器(株) 大分ショールーム
大分市下郡北1-4-11
TEL. 097-554-3737
- ・松下電工(株) ナショナルリビングショールーム大分
大分市牧23-1
TEL. 097-558-2138
- ・(株) INAX 大分ショールーム
大分市下郡中央2丁目4番16号
TEL. 097-568-3417

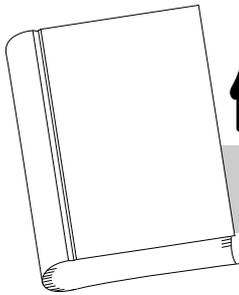
(訪問順)

なお、時間の関係で他社を訪問できなかったのは残念であるが、次の機会に譲りたいと思う。

今回、お世話になりました東洋陶器(株)の永野洋氏・伊東公代さん、松下電工(株)の藤木美歩さん、(株) INAXの柏田恵さん。お忙しい中、突然の訪問にも拘らず、親切・丁寧に対応していただき誠にありがとうございました。

また、不慣れのため、記載漏れもあるかと思われませんが、ご容赦ください。

最後に紙面を借りて衷心より感謝申し上げます。



個人的図書紹介

vol.13

話し言葉と本

大分支部 笠木 忠昭

建築の本は難解だというのが一般的な評価です。その原因の一翼を担ったのが磯崎新ではないでしょうか。私が学生の頃（約30年前）建築史と当時の建築状況に関してはS・ギーティオンの『空間 時間 建築』の1、2巻と磯崎新の『建築の解体』を読めばほぼ事足りたと思います。ところが、磯崎新の著書はとにかく難しく、理解するのに骨がポキポキ折れ、大体分るまでに30年近くかかりました。磯崎の難解さ以来、建築家は、訳の分らないことを書けば、それで世間に認められるようになったと感じているのは私だけでしょうか。

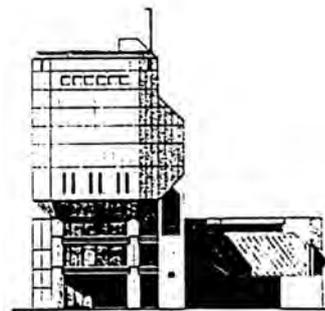
今回はある建物についての講演記録とそれが本になった時の場合を比べてみたいと思います。

「その後、この建物（現アートプラザ）がまだ完成せずに模型の写真ぐらいの資料しかない時の状態なんですが、この岩田（＝故 岩田 正）さんが『一人の人に是非紹介をしてあげたいから福岡まで一緒に行こう。』ということを言われました。それで、その時にお目にかかったのが、現在は福岡シティ銀行の頭取をやっておりますが、まだ二代目で本当に跡が継げるか、継がせてもらえるかどうか分からないという非常に不安定な状態で、若くやっと専務になりかけた四島司さんという方です。この方に紹介をされました。

その時にこの人は、僕（＝磯崎新）はまだ建物が医師会館は出来ていましたけれどあとの建物は全部模型の状態でしたが、これを見て『非常に面白い。それならうちの大分の支店をちょうど計画しているからやってくれ。』という話がそこでまとまりました。それで出来上がったのが今の福岡シティ銀行の大分支店。それが図書館が出来上がった一年後だと思えます。

まあ大分の図書館の方は出来上がった時に、これ建築のプロパーの世界で注目を色々な形で頂いて、賞を頂いたりしたわけです。この福岡、当時の相互銀行ですが、シティ銀行の大分支店はですね、相互銀行としてはまあ言わば一種型破りというか、銀行として型破りのような状態になっていました。それでご覧になると分るように真ん中で真っ赤な色を使ったり、様々な色彩を使ったり、それから空調なんかも露出したりしています。銀行としては今だったら普通なんですけど、当時は銀行というのは石で頑丈で、もうここに金を預けさえすれば安全だと思えるような、建物全部が金庫

のようで叩いても壊れないような、そういう建物じゃないといけないと言われていたのですが、そういうことには僕は殆ど無頓着で、こういう色を塗っちゃったうえにガラス張りにしたわけです。



今でもそうですけどね、銀行というのは大蔵省が管轄して色々喧しい事を言うのです。その大蔵省のお役人で九州を管轄している人がオープンの直前に来まして、それで一步入った途端に『これは銀行じゃない。もつての外だ。』ということを先ず言っちゃったわけです。さてどうしたものだろうということで銀行のスタッフはもうオロオロしちゃって、大蔵省が何か言えば絶対に服従しないとイケない。それで、これは困ったことになった。しょうがないというんで、すぐ建設会社に電話をして『明日ペンキ屋を全員待機させる。もめたら直ぐ塗り替える。』という、そういう段取りをずっと取っておいたらいい。それで僕は、これは弱ったなと思ひまして、その大蔵省の人に会ったんです。『一体何が理由でこれが銀行的でないというふうにおっしゃるのですか。銀行はどうあったら良いのですか。』という質問をその時しました。そしたら『銀行というのは、これからは大衆化しないとイケない。一般の人の評判というか、好みというか、そういうふうなものを重視しない限りこの銀行のデザインというのは大蔵省は認められない。』『では、一般の人は何を基準にして良いと言うのですか。』と言ったら『これは、きちんとした昔ながらのあの銀行のイメージがあれば皆安心するんだから、それこそがデザインの一番良いものだ。』と大蔵省は考える。』こういうふう言うんです。言わば、一つのお金という権威を強引に押付けるという、こういう考え方だ。これは今でしたら馬鹿馬鹿しい理論なんですけど、当時としちゃあ真面目に言われていました。そこでまあ、僕は『じゃあここで何を評価の基準にしましょうか。何か具体的に言ってください。』というふう言うと『それは分かった。要するにお客が来て預金量が増えさえすれば銀行としては成果が上がるんだ。それで評価されればいいんだ。』ということになりました。預金量は、要するにこんな銀行だったら必ず減るに決まっている、ということが大蔵省の人が言うわけです。で、まだペンキ屋は待機

している。こういう状態になっている。

ところがですね、オープンしたら評判になった。評判になったのは、これは僕のせいではなくて、まあ要するに大分の人が珍しいものが好きであったということが一つと、それから、たまたまあその工場地帯がですね、プランが出来て計画が進行を開始した時期で、まわりの土地がゴンゴン値上がりをしていました。そのお金がやっぱり平均的に銀行に預金にきますから黙っていても預金量は上がったんですね。それで『上がったじゃないですか。』っていう結果になってですね、もう大蔵省は『それで結構です。』ということになった。そうしたら、たまたまそれが銀行が新しいのがいけるんだって言う評判になって週刊誌なんか取り上げてくれて、日本中の相互銀行というのはもう言わば、それから後は発狂状態で色鮮やかで、もうメチャクチャにやればよろしいっていうような、そうなるともはや悪例を一つ作った責任もありますが、私のデザインは何とか生きのびた。まあこういう格好になりました。

銀行の人はやっぱりお金の計算しますから、そこに広報担当の人がいまして週刊誌に出た、雑誌が取り上げたとか、新聞に出たとか、それを全部広告料に換算すると幾らになるか、ずっと足し算した。そうしたら一年以内に大体総工事費をタダの広告費が、そっちの方が上回ったという数字が出ました。で僕は突然信用が銀行で付いたわけです。それが博多の駅前に出来る本店をやらせてもらう唯一の理由付けになった。まあそういういきさつがあるのです。様々な偶然が重なってそういう仕事がやれるようになりました。(略)」(『REVITALIZE No.16』現大分県立図書館を考える会 1994年6月23日発行)

この手に汗握るスリルとサスペンス?が、著書になるとどうなるのでしょうか。

「——独立するのは三十二歳のときでしたね。建築の世界は数学や音楽や美術にくらべるとデビューが遅くて四十過ぎが普通ですから、異例のことですね。海のものとも山のものともわからん若造だが、郷土出身の建築家といえはあの男しかおらんのため、仕事をさせてやろうと考えてくださる方がいたわけです。ふるさとへのありがたさですね。(磯崎新回答)

——見返りを期待するスポンサーではなくて若い才能を育てようと……

そう、パトロンですね。いまのような、個人の金持ちは根絶やしにするという税制では、パトロンはもはや望めないでしょう。文化を育てるうえでは、由々しいことですよ。

——まったく同感ですが、その県立図書館の次に建てた、いまの福岡シティ銀行の大分支店は、外観でも赤い天井でも、大きな話題になりました。

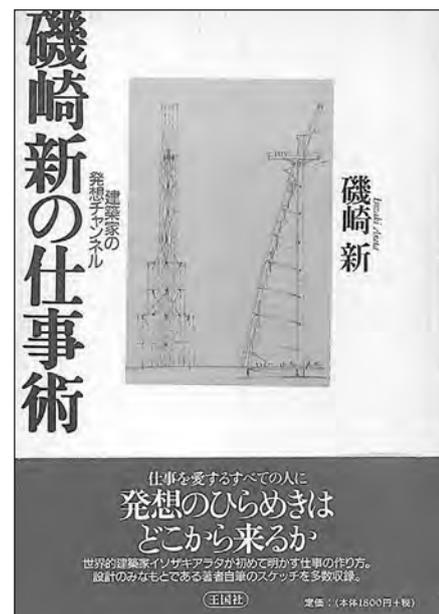
内部を人間の体、あえてむき出しにした空気のダクトは血管に見たてて赤くしたのですが、大蔵省の検査官に『銀行らしくない。これでは客は来ない』といわれました。塗りにかえにそなえてペンキ屋さんに待機してもらって『来るか来ないか、開かせてください』と、談判です。

——大蔵省のヨミがはずれて、預金がふえたそうではないですか。

それは建物の力というより、大分に次々と工場が進出する時期に当たったからですよ。その点でも、僕は運がいいと思います。

——しかし、図書館で日本建築学会賞と建築年鑑賞、銀行の支店で文部省の芸術選奨・新人賞とたて続けに大きな賞をとって有名になる。磯崎丸は地元の盛大な見送りを受けて大分港を出港したのでしょうか。

まあ、ぼくの建てたものが新聞や雑誌につきつぎと紹介されまして、その分量は、広告費に換算すると銀行の建物の工事費を軽くオーバーしたということも聞きましたね。ところが、たちまち大変な荒波に遭って、あやうく沈没しかけるわけです。(略)」(『磯崎新の仕事術』磯崎新 著 王国社1996年7月15日初版発行)と、こうなるわけです。



この特異なエピソードを持つ銀行建築が今存続の危機にあります。私の母は“タコのはっちゃん”と呼んでいましたが、異様な形態ではありますが、昭和通りの南西側交差点に四十年の間、ランドマークとして市民の間に親しまれてきた建築物がまた一つ消え去ろうとしているのです。経済原理の上から言えば、建築が文化であろうと、それはノミを潰すほどの感覚でしかないのでしょうか。私に大金があればといつも思うのですが、ままたまらないのが世の中ですね。

MY WORK

★場所 中津市島田本町
 ★設計者 HIRO建築設計工房 中尾 忠廣
 ★建築主 テーラー須賀
 ★施工主 (株) M・ZEC
 ★構造 木造2階建て
 ★規模 建築面積 50.54㎡
 床面積 68.64㎡
 ★用途 店舗



★建築主 居酒屋 花満
 ★施工主 (株) 富部建設
 ★構造 鉄骨造3階建て
 ★規模 建築面積 142.29㎡
 床面積 275.36㎡
 ★用途 店舗併用住宅



★設計主旨

この地域は、区画整理で建物が建て変わることから、市は現在「城下町の風情のあるまち並み」をめざし、まちづくり推進室を設置してとりこんでいるところです。そんな中、交差点の対角に紳士服の店舗と居酒屋の設計をさせていただきました。

設計するにあたり、「城下町の風情のあるまち並み」という課題に個人的には少し戸惑っていました。施主や設計者がばらばらでイメージの統一ができるのか？イメージ自体もあいまいなところがあるのではないかと。そんなことを考えながらも自分のできる限り、この問題に向き合うように設計をすすめました。居酒屋は景観に合わせやすかったのですが、紳士服の方は苦労しました。オーナーは景観統一には賛成なのですが店のイメージとどのように結びつけるか、お互い頭をなやませました。

現在、ここ島田本町の建物群は大体完成しつつありますが、市が考えているイメージからするとばらばらな感じは否めないようです。ただ、何の方向性もないまま和風の建物があったり洋風があったりするよりは、統一感はあるのではと思いますし、このことで住民のみなさんのまちづくりに対する意識はたしかに上がりました。

街づくりに対していろんな意見があります。今回まちづくりについて考えてきて思うことは、だれのためのまちづくりなのか、そうして、そこに住む人はどのような住まい方を望むのかということです。

★建物名称 オータムリーフ
 ★建築場所 豊後大野市三重町秋葉
 ★建築主 赤嶺 信武
 ★設計者 赤嶺 信武
 ★施工主 首藤工務店(有)
 ★構造・面積 木造平屋建 住宅 143.97㎡
 車庫、倉庫外 97.47㎡
 ★用途 専用住宅
 ★竣工日 平成18年4月



★設計主旨

子供がいなくなることを前提に、夫婦の終の棲家としてどう生きるか、生活するかをテーマに計画しました。コンセプトはやさしい住宅。キーワードは、自然・エコ・のびやかとし、このキーワードに合うSC工法を採用。

平面計画はメインハウス、ゲストハウス、趣味の棟と3棟に分け、それぞれ独立性を確保するよう努めました。メインハウスの主な室はリビングダイニングと寝室の室として1室を広くとり、のびやかな家を体現しました。



MY WORK

- ★建物名称 鉄輪むし湯
- ★建築場所 別府市大字鉄輪字ウカリユ718番地
- ★建築主 別府市
- ★設計者 別府市建築設計協同組合
- ★施工主 株式会社 平野工務店
- ★構造 R C造+木造 2階建
- ★規模 建築面積 246.63㎡
床面積 285.30㎡
- ★用途 専用住宅
- ★竣工日 平成18年8月24日

★設計主旨

外観は木造日本瓦葺き、付け柱による真壁風の外壁として鉄輪の街並みになじむように配慮した。塀も杉板りやんご張りに浸透性塗装として、周囲の雰囲気と溶け込むようにした。
むし湯の外壁は旧むし湯と同じ切石積とし、旧むし湯のイメージを継承した。また、前庭には無料で楽しめる「足蒸し」を設けて、散策途中に気軽に立ち寄れる施設として親しまれている。



- ★建物名称 湯布高原荘
- ★建築場所 由布市湯布院町川西
- ★建築主 株式会社TRI大分AE
- ★設計者 (有)アーキワークス・TeTsu建築設計室
三又 哲博
- ★施工者 株式会社さとうベネック 大分支社
- ★構造・規模 木造平屋建て一部2階建て
- ★建築・床面積 626.55㎡・562.48㎡
- ★用途・竣工 研修所・平成18年11月

★設計主旨

『企業グループの人材育成』『職場の仲間がチームワークやコミュニケーションを深め仲間意識を高める』『社外関係者との交流を促進し地元の発展に貢献する』上記3つの建設目的を持ち計画した施設は、研修棟・リラクゼーション棟・宿泊棟（3棟）の3つのゾーンに別れており、それぞれの棟が別々の機能を有しています。標高700mの湯布院高原の別荘地に建てられたこの施設で、研修を終えた社員が、湯布院の山々を眺めながら温泉につかり、木々に囲まれた自然の中、非日常的空間で安らぎ、心身共にリフレッシュし、新しい力の源になる様にと設計しました。



PERSONAL INFLUENCE パーソナルインフルエンス

個人が他人に及ぼす影響力

会員紹介

(掲載については順不同です)



- ★生年月日 昭和52年9月8日
- ★勤務先 日田市教育委員会文化財保護課
- ★趣味 旅行

★将来の夢、モットー等

3年前に現在の勤務先への就職のため福岡から引っ越してきました。日田市内のことは徐々に分かってきたものの県内のことはこれから勉強していこうと思いますのでよろしくお願ひします。

現在は歴史的町並みに関わる仕事をしています。古い家はもともと好きでしたが、修理の過程で様々な人の技や想いが加えられていく様子を見て、いつか自分の住めたらな、と思うようになりました。将来の夢は町家の縁側で猫とまどろむことです。



今村 華子 (日田支部)

- ★生年月日 昭和46年12月9日
- ★勤務先 ATAVUS-SATOH
- ★趣味 ドライブ・アウトドア

★将来の夢、モットー等

この度建築士会の方に入会いたしました、佐藤と申します。熊本の大学を卒業し、熊本で設計事務所に勤務し、中津に帰ってきてからは実家の屋根工事を手伝っていました。ですが、線を描く仕事をもう一度やりたいと思い、事務所を設けました。

今後の夢と言っては変ですが、自分の携わっていききたい仕事は、自然素材を使用し日本の風土に合った住宅、その空間において“ほっとする”ものを造っていきたいと思っています。



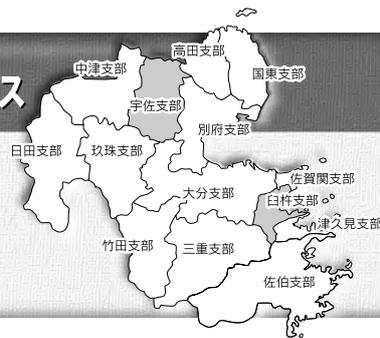
佐藤 博昭 (中津支部)

PERSONAL INFLUENCE パーソナルインフルエンス

個人が他人に及ぼす影響力

会員紹介

(掲載については順不同です)



- ★生年月日 昭和54年4月27日
- ★勤務先 株式会社 奥田組
- ★趣味 バスケット

★将来の夢、モットー等

現在、地元の石材店の事務所と工場を建設しています。まだまだ知らない事だらけで毎日が勉強です。施主との打合せを入念に行いお互いが納得の出来る、そして喜んでもらえる建物を目指して頑張っています。

自分は『出会い』をモットーに、いろいろな所でいろいろな人との出会いを大切にして、より一層見解が深まり、自分自身の成長のプラスにしていけたらと思っています。そして、宇佐市の発展に少しでも貢献できるよう努めていきたいです。

宜しくお願いします。



矢野 友和 (宇佐支部)

- ★生年月日 昭和50年3月3日
- ★勤務先 大分県白杵土木事務所
- ★趣味 住宅雑誌の流し読み、懇親会

★将来の夢、モットー等

8年の長き準会員時代を終え、今年ようやく正会員になりました。また、職場も異動となり、現在は、白杵支部の一員として活動しています。

白杵に配属が決まり、まだ4月の転勤前にもかかわらず、白杵城内の桜の木の下で、青年部の花見に参加させていただきました。以来、建築士の集い、サマーキャンプと事ある毎に今までの出遅れを取り戻すが如く参加しております。来年は、建築士の集いが大分開催となっており、分科会の一つに白杵ツアーが予定されていますので、盛り上げていきたいと思っています。

最後になりますが、今後とも建築士会の一員として、研鑽を重ねていきたいと思っていますので、宜しくお願いします。



平 清朗 (白杵支部)



日出町陽谷駅周辺のまちづくり 計画案の提案を行う

別府支部 岡田 宏基

まちづくり研究会の陽谷部会では「陽谷駅とその周辺に関する整備計画」を作成し、日出町に対して提案を行った。

◆提案の経緯

現在、日出町陽谷駅周辺は、陽谷高校跡地などの未利用地がある反面、人が集い、憩い、行き交う場所が少なく、自然に親しむ公園もない。また、日出町は交通の要衝であるにもかかわらず、駅には切符を買って乗り降りする機能しかなく、出迎え、旅立ち、別れ、出会いなどの人々の交流を形成する場の提案が必要だと思われた。

整備構想及び整備計画着手から2ヶ月半の中で、検討会議を重ねること十数回を数え、短期間で集中して計画書を作成し、9月12日には工藤義見町長に説明を行った。



提案書



会議状況

◆提案までの日程（抜粋）

月 日	議 題	参加・内容
6月14日	陽谷高校跡地の進入計画と駅周辺整備構想についての突合せ	役場関係部署 まちづくり研究会 陽谷部会
6月28日	基本的な考え方と素案説明	役場関係部署 まちづくり研究会 陽谷部会
7月12日	概略図面提示と意見交換	役場関係部署 まちづくり研究会 陽谷部会
8月9日	各重要課題の素案作成・担当決め	まちづくり研究会 陽谷部会
8月18日 19日	山陽本線駅および町並み視察	まちづくり研究会 陽谷部会
8月31日 ～9月8日	細部調整・まとめ作業	まちづくり研究会 陽谷部会
9月12日	工藤町長へ説明	まちづくり研究会 陽谷部会



周辺図

◆提案内容（抜粋）

1. 中心部エリア

全体を小高い緑あふれる公園とする。湧水を利用して西側へと水の流れを造る。車道は公園周囲を廻る幅員10.0mのアスファルト舗装の道路とする。公園内にも遊歩道を設け、広場的要素の強い「緑化公園」とする。



中央公園イメージ

2. 西側エリア

低木を中心に配置した公園とし、東側からの水の流れを受けて水辺の広場やピオトープなどを設けた「親水公園」とする。民有地には民活エリアを想定し、民間資本の参入も考慮する。



親水公園イメージ

3. 駅／駅舎エリア

日出町の地域色を反映させた個性豊かな駅舎とする。近年まであった日出高校の前身である日出高等女学校が瀟洒な木造2階建ての洋風建築であったことから、その歴史性を生かした駅舎とする。



駅舎イメージ

4. 東側エリア

樹木が点在する150台程度の普通車が駐車できる2層式の「立体緑化駐車場」とする。緑化公園の延長と考へ、構造体などの露出や車自体の存在を緑に馴染ませて違和感のない工夫をする。



緑化駐車場イメージ

◆今後に向けて

今、日出町は大きな変化と改革の中で方向性を整え、将来に向けて変わろうとしている。今回の整備計画では人が中心となった、町民が誇れる日出町にふさわしい駅と周辺を計画した。

我々の次の世代、その次の世代が「日出町に生まれてよかった」「この町で暮らして行きたい」と言えるようなまちづくりを目指し、本整備計画が実現されることを期待したい。



折り紙建築教室

坂ノ市小学校

ORIGAMI KENTIKU KYOUSITU

SAKANOIJI SYOUGAKKOU

大分支部 岐部 和久

11月3日に坂ノ市小学校で行われた『ふれあいPTA～地域と家庭と学校と～』の中でふれあい教室の講師として大分支部青年部と別府支部青年部の有志で参加をしてきました。

現地に到着。校長室に皆で出向くと他にも講師となられる方がたくさん…自分の頃のPTAと違うなあと感じていると、授業をする教室の子供たちが迎えにきて各教室へ…

道具と紙を配り終わって、講師の自己紹介・説明を行って作業開始！と同時に子供たちの側に行き指導も開始！最初はおぼつかない手元でカッターを使っているものの、2～30分もするとちゃんと使えるようになってくるから凄いものです。カッティングと折り目を鉄筆でつけ終わって紙を折って行き形に成っていくと教室の彼方此方で歓声が…出来た折り紙に色を塗ったり、廻りで見せ合ったり、『難しいのにチャレンジしたい』と言ってきたり、あっという間の1時間半でした。



子供も親も一生懸命



出来上がって満足！



早速説明開始…

追伸

平成13年にコンパルホールで折り紙建築の第一人者である茶谷先生を向かって、折り紙建築を始めて以来5年以上過ぎてきました。

現在年に1度、大規模に教室を行い、子供会や学校と教室を開催して大分支部青年部の主軸的活動となっています。

今回は、別府支部青年部に応援を頂き大変感謝しました。物造りの原点的な折り紙建築を通して子供たちと接する事は、これからの建築士として重要なことではないかと感じています。興味をもたれた会員の方！ぜひ一度参加して見ることをお勧めします。



耐震偽装について

地方が考える

佐賀県支部 佐々木 浩

過去にこれほど、「建築士」「構造計算」という言葉が日常的にテレビ・新聞又は一般の方々に浸透した事があったのでしょうか？それも悪い意味で・・・

2005年の11月に事件が発覚し、全国の設計士・建築に係る全ての人の信頼を根本からひっくり返したあの【耐震偽装問題】を少々時間も過ぎていますが一地方の建築に係る団体として真剣に語る場所を作らなければならぬと思ひ我が佐賀県支部はガチンコ討論会を行いました。

〇〇大学の〇〇教授や著名な建築家の方々のような的を得た討論とまではいきませんが。田舎の親父たちが熱く語り合いました。



- 【A氏】耐震疑惑の問題で仕事に影響が出ましたか。
- 【B氏】確認申請のときに時間がかかり出した様な感じがする。
- 【C氏】話題が1つ出来て工事には支障が無くメリットの方があった。
- 【D氏】建築士という名前、建築士の責任の重さ等一般人にはあまり知られていなかったのが今回の事件で伝わった。
- 【E氏】姉齒建築士を使った意匠設計事務所には責任は無いのか。
- 【F氏】プロとしての仕事の信用性が大きいのでしょうか。
- 【G氏】現場の担当者も他の工事と比べ不思議に思わなかったのか。
- 【H氏】姉齒氏はコストダウンの設計で回りには知れ

渡っていたのでこんなものかな、としか思わなかったのか。

【I氏】プロがプロに意見を述べるのは少し意見をしにくいのではないのか。

【J氏】大分（佐賀県）では偽造問題のような話を聞いたことがある人は居ますか。

【K氏】地方ではありえませんし、まずこれからもおきないでしょう。

【L氏】地方では人と人とのつながりが都会よりも多く何時、何所にそういった人と当たるかもしれません、施主の顔が見えない都会と比べれば、施主の顔が見える地方では偽造事件はまずおきないと思われま。偽造を行おうとする考えすら出ないでしょう。

【M氏】すべてがコストダウンと姉齒建築士の独りよがりなように思えます。施主のコストに合すという仕事柄計画ミスや、まあいいか、とい

って仕事を行っている人にはいい警告になったと思います。

考察

地方では人と人との付き合いにより信用が生まれ、それが仕事と結びついています。これからも、信用を大切にし、建築士という名前の信用を取り戻し、また建築士の使命の重大さを伝え、建築士の地位の向上を訴え、地方ならではの活動を行っていこうと会員一同一致団結したところで終わります。

※お忙しい所皆さんお疲れ様でした。



小さな模型屋の「世界」

臼杵支部 神田 高士

もう4年前になるだろうか、臼杵市内でただ一軒だけ営業していた模型店が店を閉じた。たぶん私と同世代、あるいはそれより上の世代の、臼杵で生まれ育った男性ならば一度は訪れたことのある店だったかもしれない。

狭い店内に入ると、その中央に1/200スケールの戦艦大和の木製模型が飾られてあった。今は故人となった店主の作である。この店のカンパンのようなもので、今でも知人とこの店の話をすれば件の大和のことが出てくる。このほか銀色のドライブラシ仕上げだけで金属感と重厚感を表現した戦車や飛行機の作例も飾られていた。店主はこれらの作例を前に、この実物が誕生した背景、その活躍ぶりなどを話してくれることもあった。こうした作例は子供の我々がとてもじゃないが造れるシロモノではなかったが、それだけに憧れの対象であった。いつかはこれと同じものを造ってみたいと思った子供も多かったろう。そう思いつつ安価でそこそこ完成させることのできるプラモデルを買っていくわけである。

たまたままとまった金（お年玉とか）を手にしたときなんぞはこの店に行き、かなり高価（30年前で1,000円を超える）で精密（完成すればの話だが）なプラモデルキットを買おうとする。T社のリモコン戦車とか、N社の1/500軍艦とか。しかし、「これあんたが作りきるんかえ」と、この店主に言われることがある。そしてもっと安価で作りやすい（つまりはいつも買っているような）キットを勧められる。物事には段階や習熟の過程があること、分相応というものがあることを、彼はそれとなく示唆してくれた。

それに、小学校のころはこの店主によく怒られた。別に模型を買いもしないのに商品を触りまくっていると、「うちは一度触ったものは買ってもらうことになっちゃうんやけどな」と。

社会にはルールというものがある。理屈は抜きにして、悪いことは悪い、悪いことは自分のわがままで人に迷惑をかけることだと教えてくれていたのかもしれない。店主はこの店にやってくる多くの子供客のひとりひとりをじっと見つめていてくれていたのだろうか。

この店主N氏は大正の生まれで、太平洋戦争のさなかに京都の大学で国文学を学び、将来は教員になることを望んでいたらしい。ところが昭和18年に学徒出陣で陸軍士官となり満州に渡った。何度かの実戦を経験したのち終戦を迎え、数年のシベリア抑留を経て日本に帰国した。

臼杵の人ではなかったが、さまざまな職に就いたあと、臼杵の町で模型屋をはじめたという。なにかの理由で教員にはならなかったが、模型屋は子供を相手にする商売だし、ひょっとすると教員に一番近いのがこの仕事じゃなからうかと思ったのが動機だと語ってくれたことがある。

私が大学入試に合格したとき、N氏は教員免許を取ることを強く勧めてくれたが、私はこのころ教員になるつもりは全くなく、「教職課程はとらない」と言った。そのときN氏が悲しげに私を見ていたことを覚えている。そして「教員免許を取れる学校ならば、取っていたほうがいい」とそれだけ言った。私は結局思い直して教職課程を取ることにしたが、帰省の折N氏の店に行きこのことを伝えた。「ああ、よかったよかった」と、わが事のように喜んでくれたN氏の無邪気な笑顔を今も忘れることはない。彼が生きた時代のせいでできなかったことが今はできるのに、それを無駄に放棄することが、愚かというより本当に悲しいことだとN氏は思ったのだろうか、ずいぶん後になって気がついた。

今思えば、この模型店には「憧れ」と「教育」が同居していたような気がする。少年期には、怒られつつもN氏の愛情に裏打ちされたこの二つがあったからこそ通いつめたのかもしれない。

最近「都市再生」などという言葉を知ったとき、一見、経営戦略や経営効率という言葉とは無縁に思えるこの店のことをなぜか思い出してしまう。はるかに広い世界をハナタレ小僧に見せつつ、その成長を見守ってしてくれたこんな店が、過去のものとして消え行くことへのノスタルジーからだけではないような気がする。

このコーナーの趣旨には合わないかもしれないが、かつての臼杵のまちの一断片を紹介してみた。





旧街道の問題点

津久見支部街並み調査会

私の町には道幅の狭い旧街道が都市計画地域内に点在します。街道の景観保存と法42条2項道路（道路後退）の問題点が検討されます。各地区へのアクセス道路が新設され旧道は手つかず状態なので、何となく懐かしい街道風景が残されています。

今回調査した地区は、第一種住居地域にある旧道で、昭和の時代、人力車が通れば良い生活道路だったそうです。法的には、不適格住宅があちこちに・・・。

道路沿いには、レンガ積みの塀・道に突き出した軒先・旧家・灰石塀・サンワの石積み・目隠し緑化・目隠し板塀が建ち並ぶ約400m余りの道です。この道は、保育園児・小学生の通学路でもあり、落書きされた塀も少々見られ児童の思い出になっています。塀越しにお隣と話しをする地元の方々「故郷の風景」とも言える街道です。道の所々に離合場所もあり、来客者へ配慮された最低限の生活道に思いました。



よって、緊急車両は小型車限定となり問題が浮上して参ります。



皆さんに自慢出来る1歩手前ですが、残しておきたい街道風景です。大正・昭和と歩んできた家屋は空家を取り壊しの兆しが徐々に見えています。

今まで、100%に近い建ぺい率の建築物が、道路後退・斜線制限・建ぺい率を検討すると、有効な敷地は少なくなり、結果移住（過疎地区）となり、この風景が無くなるのは避けたいところです。

どこにでもあのような街道ですが、地元の方々が文化であり、この「故郷の街道」を残して頂きたいです。何か良い方法が無いかと思う次第でした。





トライアングル'94 in 延岡 報告

佐伯支部 志賀 智昭

< トライアングル '94とは >

建築士会青年部の宮崎県延岡支部、高知県幡多支部、佐伯支部が協力し、会員の育成、技術の向上、社会への貢献を目指し、会員相互の交流と親睦を目的とする。

ネーミングの由来は、延岡－佐伯－幡多を結ぶ線が三角形（トライアングル）の形になることと、発足年の'94、そして九州・四国の頭の数字、9と4を掛けている。

< 1年ぶりの再会 >

本年度は延岡市内の竜巻被害の影響で日程が変更したこともありましたが、10月28日（土）にそれぞれが独自の方法で延岡市役所前に集合しました。

良い季節の候、期待通りバイクで登場した「井上支部長のパフォーマンス」も華を添え、本年度の再会を無事果たすことが出来ました。

< 延岡城跡めぐり >

三福寺：現在の本堂は天保8年に建立されたもので、平成初期に鋼製建具を木製に戻したりと創建当初に近い形で保存されていました。



畳 提：五ヶ瀬川の堤防に設置され、水害時に畳をはめ込み嵩上げを行っていたそうです。



http://www.mlit.go.jp/river/jiten/nihon_kawa/89105/89105-1_p1.htmlより抜粋

他に野口記念館千人殺しの石垣一城山北大手門を延岡支部の案内で見学しました。

< そして懇親会 >

会場を「道の駅北浦」へと移し、待望の懇親会へと移行です。

新鮮な海の幸・山の幸を肴に、3支部の会員が仕事の話からここに書けない話までと、深夜遅くまで懇親会は延々と続いたのでした...（私はリタイア）



全国大会でも登場、建築資材を利用した鮎焼きセット
(大会当時は25m超級の大きな物でした)

来年度は高知で再会することを約束し、無事「トライアングル '94 in 延岡」が終了しました。



参加者
(延岡支部14名、幡多支部3名、佐伯支部5名)

あかひやねミュージックフェスタ

三重支部 後藤 康仁

今回は、昨年この欄で紹介しました支部内の木造廃校舎、通称「赤い屋根」に関連する出来事について触れたいと思います。

地域住民が主体となり「赤い屋根」を活用する様々なイベントが行われている話は前回紹介しましたが、そのイベントの一つに子供たちとプロのミュージシャンとのワークショップがあります。



プロのブラスバンド「BLACK BOTTOM BRASS BAND」（通称「BBBB」）を招き、「赤い屋根」を練習の場とし、音楽を通じて子供たちや地域住民と交流を図っています。そしてその練習の成果を発表する場として昨年秋「あかひやねミュージックフェスタ Vol. 1」が三重町の市民グラウンドで行われました。

地元の子供たちとのセッションなどイベントは大いに盛り上がりを見せました。この模様はTVでも紹介されたのでご存知の方も多いかもかもしれません。

今年も昨年同様「BBBB」を招き、音楽ワークショップを「赤い屋根」で行いました。昨年の成功により、多くの参加者が集まり、神楽とのセッションや太鼓演奏との共演など前回以上に充実した内容になったそうです。



参加者の皆さんは古い木造校舎に暖かみを感じながら時間が経つのを忘れ練習に励んだそうです。

そして今回のイベントは「あかひやねミュージックフェスタ Vol. 2」と謳い、会場を多目的市民ホール「エトピアおおの」に移して行われました。



お昼から夕方まではアマチュアライブや地元の農業高校産の野菜即売会など様々なイベントが催されました。

「赤い屋根」がある松尾地区は神楽の盛んな所でも有名です。この日も「BBBB」とのセッションが盛り込まれており、この共演を一目見ようと年配の方々が多く来られていたのが印象的でした。



夕方からはワークショップの成果のお披露目でした。「BBBB」と子供たちとのセッションや県内外のアマチュアとのセッションなどどれも演奏者たちの熱意が観客席に伝わってくるものでした。



その後「BBBB」のライブが行われ、昨年「赤い屋根」で作曲した新曲も披露され、観客とステージとが一体となり大いに盛り上がりを見せました。

参加者のコメントに「お世話して下さった地元のみなさま、ワークショップのみんな、学生の方々、BBBBのメンバー、すべての人たちにに関わり合えたことを心から幸せに思います。」とあります。

新たな交流を生む場を目指した「赤い屋根」。それは地域住民や多くのボランティアそして地元行政の支援を受けながら着実に形となってきていると感じました。



耐震調査部会の活動報告

日田支部 貞清 唯行

今年、新たに発足した耐震調査部会の活動について報告を致します。

日田支部では建築士の社会貢献の一環として、市民を対象とした住宅セミナーを毎年開催してきました。テーマについては毎年レアなものを選定し、大学教授などによる講演を行うとともに、数年前からは木造住宅の耐震診断についても無料で相談に応じてきましたが、近年ではセミナー当日以外でも耐震診断の相談があることなどを踏まえ、耐震調査部会を今年4月に発足し活動を開始したところです。坂本文利部長を先頭として総勢15名の部会となりました。

10月4日には第1回会合を開催し、無料耐震診断の実施時期や役割分担について決定を見ました。また、日田市における「戸建て木造住宅の耐震診断等における補助制度」の現状について説明を受け議論をしました。補助制度については、今後も行政と連携を密にしながら予算措置に向けた取り組みが必要ということで意見を集約したところです。

多くの市民の来場が見込まれる「第27回日田の森林（もり）フェア」の開催に合わせて行いました。当日は2日間とも快晴で絶好の相談日和となり、メンバーは少しでも市民の関心を惹こうと新潟地震の被害写真パネルの展示・木を題材とした絵画やモニュメントの展示にも力を入れ早速相談を開始しましたが、相談者は僅か1名と発足当時の意気込みからすると極めて残念な結果となりました。



事前の周知活動の不足を痛感するとともに、地震災害に対する日田市民の意識の希薄さに愕然としたメンバーでありました。

今後も地道な啓発活動を主眼とし、地域住民の安全な生活を支えるため地道な活動を継続していこうと考えている今日この頃です。

Fight !



折り紙建築

中津支部 松下 明美

平成18年度の秋は市内の小学校などから、4会場の申し込みがあり、折り紙建築隊は隊長、長谷川氏を中心にフル活動でした。

9月21日(木) 北部小学校

9月30日(土) 大幡公民館

10月31日(火) 三保小学校

11月17日(金) 上津小学校



三保小学生5年生 28人



北部小学校5年生2クラス 68人



上津小学校4・5・6年生 37人・一般1人



大幡公民館 小学生22人・一般1人



後日、必ず生徒さんたちから、お礼の手紙を頂き温まる言葉に感銘しています。将来、建築に対してこの小さな動きから、大きな夢を抱いてくれる子供さんがいたらなと願っています。



史跡と浪漫を探訪する

「旧街道散策」

中津支部 長谷川 詳

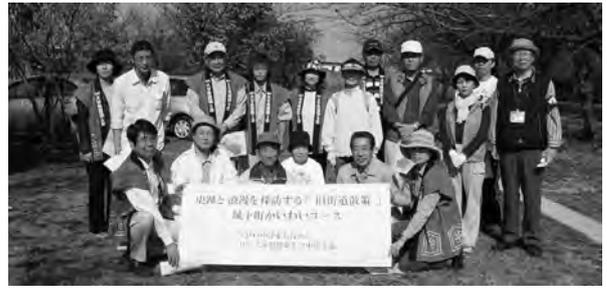
平成18年11月4日土曜日、史跡と浪漫を探訪する「旧街道散策」が、市内を3コースに分けて開催されました。当日は秋晴れで絶好の散策日和でした。



1時30分にそれぞれの出発地点で開会式を行い、歴史を語る会の先生方の案内で約2時間かけて市内を散策しました。



豊後街道（浜街道）コース



地元に住んでいながら知らなかった事も多く、先生の説明に熱心に耳を傾けていました。新たな発見も多かったと思います。



城下町かいわいコース



宮永街道（7辻13曲がり）コース

参加者の方々は、心地よい疲れと多くの知識をおみやげに出来たと思います。

また大きな事故もなく無事終了し、今回の企画は大成功に終わりました。



折り紙建築

宇佐支部 奥田 和彦

今回は宇佐市立西馬城小学校より「折り紙建築」のご要望があり、お邪魔することになりました。西馬城小学校は、宇佐神宮の南側方向に位置し、国道10号線から少しはいったところにある小学校です。この学校は全校生徒の数は少ないのですが、先生と生徒と地元の関係者、ボランティアの方々が協力し合って、この学校を支えているのがすごく感じられました。



今回も宇佐支部のいつものメンバーで訪問しました。前回とおなじように、九州石油ドーム、海の見えるレストラン、うみたまごをテーマにしました。

子供達が完成している見本の折り紙建築の模型を見るまなざしは不安と興味でいっぱい、じっと見つめています。ほとんどの生徒は初めてなので、むずかしそうだな～！僕らに出来るのだろうか？という顔をしています。



でも、初めの説明を聞いて、カッターを握るともう目はカッターの刃先と紙に一点集中しています。先ほどの不安や緊張はまるで意識しなかったかのように黙々と作業をこなしていきます。



九州石油ドームは見た目よりも比較的簡単なのですが、出来あがった姿は感動的です！

僕も最初は不思議に感じたのですが、平面的な用紙がカッターの入れ方、紙の曲げ方次第で、立体的になるのです。生徒たちも同じように切り終わったものを真ん中に寄せると真ん中のドーム柄に切った紙がドームの形状をなすのです。

このとき、保護者の方々も生徒達と一緒にびっくりしていました。

私たちは、折り紙建築を通じて何かを感じとってもらえれば…と思います。



今、各支部で折り紙建築が行われていますが、この活動を通じて「ものづくり」の面白さ、難しさ、完成するまでやり遂げる辛抱強さ、そして達成感を伝えていきたいと思っています。

女性部会の page

・第1回大分県女性建築士住宅セミナー報告・

テーマ 「ひたの山と木を見に行こう」
(女性建築士による県産木造住宅建設支援事業)

開催日時 平成18年11月11日(土)

主催 大分県農林水産部林産振興室
(社)大分県建築士会女性部・日田支部

<スケジュール>

- 8:30~ 9:00 大分駅時計台前集合受付
- 9:00~ 出発(バス移動)
- 10:30~10:45 集合(大分県西部振興局)
- 11:00~11:50 ①日田市内の山林見学(長林業)
- 12:00~12:40 ②大分方式乾燥材の製材所見学
(琴平町武内製材所)
- 12:50~13:40 昼食
(ドライブイン古城 日田インター店)
- 13:50~14:30 豆田の町並み散策
(伝統的建築物郡の見学)
- 14:40~15:30 ③木造住宅施工現場見学
(木造平屋180.5㎡)
- 16:00~ 解散 大分へバス移動

第1回 女性建築士住宅セミナー報告

大分支部 中道 了子

平成18年11月11日(土)、この日はあいにくの雨。

9:00に大分駅をバスで出発し、車中にて建築士会女性部会長阿南春美さんの挨拶で始まりました。

大分県農林水産部林産振興室安東参事より大分方式乾燥材活用住宅促進事業についての説明があり、また参加者からの質問もあって木の事をお話し頂き、ちょっと予備知識を持って、バスは一時間ほどで西部振興局に到着。ここで建築士会日田支部と合流して最初の見学地へ向かいました。



まずは山林見学。降っていた雨もやみ、長林業の山林を歩いて、実際の杉を見学しました。



60mもある杉の木、夫婦杉、また先の台風で倒れた300年の杉の木。ここで長さんより木(杉)についてお話がありました。

今日田には300種類の杉があるそうです。日本は木がありすぎて倒れたりするとか、山を守っていくために色んな苦勞があるようです。だからその分木の良さをわかってもらいたくて頑張っているそうです。木は手入れさえすればもち、60年育った木は60年もつという話は、とてもわかりやすく参加された方々も納得していました。



次は大分方式乾燥材の製材所見学です。

大分方式をやっている製材所は県内8ヶ所あってこの日は武内製材所を見学しました。原木から皮をはぎ丸太にして角材にしていきます。(ここではがれた皮は堆肥やグラウンドに使ったり、燃料等に利用)



そしてこれからが大分方式です。高温乾燥機に3日ほど入れて前処理乾燥を行い、これを入念な品質管理のもと天然乾燥で3ヶ月以上おきます。そして厳正な検査の後出荷していきます。手間が掛かる分、良質な乾燥材で、割れが少なく色も良い。また杉材本来の香りと肌触りが失われず、と理想的な乾燥材です。

実際見た目には変わらないのですが、内部の破損が少なく、たわみに優れて化粧材としても使えるそうです。



ここでは原木から大分方式乾燥材になるまでを工程にしたがって木と機械を見ていきました。

昼食。そして豆田の町並み散策。

最後は、木造住宅施工現場見学(木造平屋180.5㎡)です。

大分方式乾燥材を使った木造住宅で、現場を見る機会がないので、柱や梁、木材を目の前にして皆さん図面を見たり、質疑があつたりと大分方式乾燥材を感じていたようです。



この後バスにて大分へ移動。
ここでも木の話や質疑応答がありました。

この日の参加者は、大分県2名、建築士会女性部5名、日田支部10名、一般参加者15名と少なかったのですが、百聞は一見に如かずで、実際に見て、触って、感じて木のことを少しわかって頂けたようでした。皆さん満足されたことと思います。

おおいだ建物発掘隊

津久見市編

“蔵”

津久見支部街並み調査会

津久見は「セメントとみかんの里」と言っていました。今ではみかん農家が激減しました。みかん貯蔵庫は空家状態で老朽化が進んでいます。しかし、石造(灰石)の蔵は、約80年間当時のままで、貴重な歴史的建造物と考えています。2004年調査以後、新たに1棟見つかりました。これまで、長目方面に16棟・中の内方面に3棟でしたが、新たに千怒地区に1棟見つかり「石蔵」は計20棟になりました。しかし、みかん発祥の地、青江地区には無いのです。(これまでの19棟は支部HPにて公開しています。)



中の内地区にある貯蔵庫

石蔵は4畳の部屋2、3室の間取りで、軒高約4m高い物で5m程度の中2階式が一般的です。内部は棚が10段から15段設置され、棚床は通気を考えて竹を敷き並べています。土間下からの吸気と換気棟から排

気其自然循環方式なのです。

さらに吸気は海風や河川の風が動く方向からとり入れ、換気棟は風向き防雨対策と、細やかな工夫がされています。床は、サンワの土間になっており適度な湿度を保ち、冬期は乾燥を防ぎ、果物保存に適した環境になっています。(年間通して温度変化が少ないです)



新しく見つかった千怒地区にある貯蔵庫

石壁は「整層切り石積み」石のサイズは長さ1.3m高さ30cm厚さ20cmが標準と思われます。継ぎ手にはダボ等を用いていないとの事でしたが、目地などにヒビ割れが見られません。石材は臼杵から海上運搬・河川を経由し、すべて人力作業だったので親戚から部落方々の加勢で行なったそうです。石の建造物では、めがね橋や擁壁など各地にあります。また違った重量感ある建物が「石蔵」なのです。



洋風の土蔵

最後に土造の蔵ですが、人造石洗い出し仕上の洋風な蔵を紹介します。当時美術大学を卒業した方が製作した建物です。隅部の洗い出し丸柱や腰・軒先には飾り細工がしてあります。現在、1階が物置で2階が娯楽室(カラオケルーム)としています。騒音・音響・快適な温度と、適度な暗さがとても良いそうです。

他にも、崩落石をサンワで積上げた平屋建て倉庫もありますが、まだ調査の承諾を得ていないので次回へ。

九州パッションへの誘い

福岡大会

青年部会長 後藤 憲二

九州ブロックでは、毎年基本的に2月に“九州パッション”、6月に“建築士の集い”を開催しています。

毎回、九州各県より建築士約400人が集まっています。“九州パッション”は、「九州は一つ」を合言葉として、大会開催県、地域の建築文化・歴史等に触れると共に、一般市民や学生との交流の場を設けることにより、一般市民の建築士会活動への理解度を高めることを目的として開催されています。

今回は、大分県の隣の福岡県で平成19年2月24日(土)に開催されます。大会会場は、昨年10月に開館した九州国立博物館です。

日本において「国立博物館」を称する博物館としては1897年設立の京都国立博物館以来、108年ぶりに新設された。日本の国立博物館の中で最大の大きさを持つ博物館です。



大会の分科会は、4分科会に分かれており、興味のある分科会に参加して見聞を広めて下さい。それぞれの分科会を簡単にご紹介します。

* 第1分科会

国立博物館のある古都太宰府の由来の建造物を見学する。

国立九州博物館出発 → 光明禅寺 → 観世音寺 → 戒壇院 → 政庁跡 → 博物館着

(財) 古都大宰府保存協会の解説員が各班に付き説明をしてくれます。

* 第2分科会

九州国立博物館巡りと一般展示の見学をします。

国博のバックヤードツアーでは、日本免震構造協会賞(2005年)を受賞した、国立博物館の免震構造の見学及び収蔵庫の見学ができます。

* 第3分科会

「飛騨の匠文化館他一連の修景計画」によって第16回吉田五十八賞特別賞、平成4年「古河歴史博物館と周辺の修景計画」によって1992年度日本建築学会賞作品賞を受賞した吉田桂二さんを講師に向かえ講演やディスカッションを通じて100年後の木造住宅のあり方を考えます。

* 第4分科会

「これからの住まい方…支えあう暮らし」を題材としてワークショップを行います。

詳しくは、各支部事務局に参加要項が送付されますのでご確認ください。



夜は、懇親会を西鉄グランドホテルにて開催します。九州各県から集まった建築士同士が情報交換をしたり、新しい友人を作り交流を深めてください。

懇親会の後は、九州最大の歓楽街中洲に繰り出し博多の夜を楽しみましょう。

第21回豊の国木造建築賞

最優秀賞



作品データ

建設地：竹田市 用途：診療所
建築主：柚須 紘一 設計者：(有)永田建築事務所
施工者：(有)川野組 延面積：182.90m²

【作品のポイント】

城下町の一角にあることから、景観を壊すことのないよう、蔵をモチーフとした伝統的な意匠をベースにした地域住民に親しまれる新しい診療所のデザインを意図している。内部、外部ともに自然素材を採用し、温かみのある仕上げとしている。スケール感のよい軒の深さと内部の天井高さを獲得するため2重垂木構造ともいえる小屋組み形式を採用し、太い垂木は表しとし内部の主たるデザイン要素となっている。

優秀賞



作品データ

建設地：由布市 用途：別荘
建築主：S邸 設計者：寿DESIGN
施工者：(有)小野建築 延面積：96.06m²

【作品のポイント】

別荘地内の雰囲気と配慮して、高さを抑えた。また、由布岳の美しさを損なわないように、外壁の色を黒とした。今回はリビングのアクセントとして集成材を使用した。リビングへは「集成材の箱」を潜り抜けて進入する。柱・梁にも集成材が巻かれており美しい。

優秀賞



作品データ

建設地：竹田市 用途：住宅
建築主：小池 宏 設計者：(有)川野組 1級建築士事務所
施工者：(有)川野組 延面積：136.96m²

【作品のポイント】

明治期の商家の建物であり、特別良い材料を使用している訳ではないので当初解体を考えた。しかし古びた瓦や軒の低さなど時代の重さを感じ、また解体廃材の環境負荷を考え半解体にし、基礎、木部補強を行って竹田の町なみに溶け込む住宅として再生活用することにし、二棟の建物であるが一棟として計画をした。

優秀賞



作品データ

建設地：日田市 用途：住宅
建築主：町谷 透 設計者：意匠職人 町谷一成
施工者：(有)パウハウス 延面積：76.49m²

【作品のポイント】

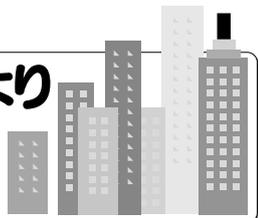
先代の方々の知恵と工夫と努力の詰まった伝統の「技」。今守らなければもう取り返しのないところまでいこう。この伝統の技に新たな知恵と工夫と努力を加えて更なる進化を続けることが伝統を守る事だと信じている。このローカルハウスシリーズは「土にかえる住宅」を目指している。

第21回「豊の国木造建築賞」受賞対象作品一覧

賞	建築主	建物所在地	用途	設 計 者	施 工 者
最優秀賞	袖須 紘一	竹田市	診療所	有限会社永田建築事務所 永田 諒和 福岡市中央区天神4丁目8-25ニッコービル5階 TEL 092-771-2477	(有)川野組 代表取締役 川野 和男 竹田市大字竹田2601-3 TEL 0974-62-2416
優秀賞	S 邸	由布市	別荘	寿DESIGN 田内 将樹 由布市湯布院町川上2185-3 TEL 0977-85-3310	(有)小野建築 小野 茂美 九重町大字粟野366-10 TEL 0973-76-2116
	小池 宏	竹田市	住宅	(有)川野組 1級建築士事務所 一級建築士 川野 和男 竹田市大字竹田2601-3 TEL 0974-62-2416	(有)川野組 代表取締役 川野 和男 竹田市大字竹田2601-3 TEL 0974-62-2416
	町谷 透	日田市	住宅	意匠職人 町谷 一成 日田市田島本町9-10 TEL 090-1921-1223	(有)パウハウス 代表 河津 龍市 日田市元町18-17 TEL 0973-22-6470
協賛賞	大分県建設業協会賞		農業 大学校 学生寮	高野建設一級建築士事務所 一級建築士 高野 幸雄 豊後大野市三重町赤嶺1922-1 TEL 0974-22-6048	小代築炉工業株式会社 代表取締役社長 小代 一幸 津久見市入船西町21-1 TEL 0972-82-4155
	大分県知事 広瀬 勝貞	豊後大野市			
	大分県建設組合連合会賞		田中 バイパス 公衆トイレ	高野建設一級建築士事務所 一級建築士 高野 幸雄 豊後大野市三重町赤嶺1922-1 TEL 0974-22-6048	株式会社友岡組 代表取締役 友岡 新一 豊後大野市大野町大原1172-2 TEL 0974-34-2323
	豊後大野市長 芦刈 幸雄	豊後大野市			
	大分県建設合同労働組合賞		住宅	アーキグランド河村靖建築設計室 河村 靖 別府市浜町3-4 TEL 0977-25-3479	ミナモト建設(株) 代表取締役 小野 源太郎 別府市大字南立石426番地の1 TEL 0977-25-6010
	丸山 英子	別府市			
	大分県建築士会賞		住宅	(有)尾方設計 尾方 秀則 玖珠町帆足299-1 TEL 0973-72-2662	ミナモト建設(株) 代表取締役 小野 源太郎 別府市大字南立石426番地の1 TEL 0977-25-6010
	高木 辰雄	大分市			
	大分県建築設計事務所協会賞		住宅	赤嶺 信武	首藤工務店有限会社 代表取締役 首藤 建平 豊後大野市三重町内田3588番地1 TEL 0974-22-3323
	赤嶺 信武	豊後大野市			
	大分県職業能力開発協会賞		田舎体験 施設	株式会社松山設計 代表取締役 松山 忠幸 中津市是則744-4 TEL 0979-32-0155	豊建設工業株式会社 代表取締役社長 梶原 澄雄 中津市大字是則字元林1306番地 TEL 0979-32-7878
	中津市長 新貝 正勝	中津市			
	大分県森林組合連合会賞		住宅	空設計 1級建築士事務所 代表 久保田 哲也 大分市東野台2-11-7 TEL 097-586-5123	執行建設株式会社 代表取締役 執行 信高 大分市大字田原6番地の3 TEL 097-542-1461
	S 邸	由布市			
	大分県木材協同組合連合会賞		住宅	林住研株式会社 代表取締役 高野 國臣 大分市中央町4丁目2番16号 TEL 097-537-1666	林住研株式会社 代表取締役 高野 國臣 大分市中央町4丁目2番16号 TEL 097-537-1666
	林住研株式会社	大分市			
大分県木材商業協同組合賞		住宅	(株)アトリエ・ラッツ一級建築士事務所 古後 信二・伊藤 憲吾・安藤 歩 大分市上宗方1996-1 K-SOH0101 TEL 097-542-7430	直 営	
有井 初志 香澄	別府市				
大分県木造住宅事業協会賞		住宅	(有)エイチエム建築企画室 阿南 春美 大分市中島中央2丁目1番6号 TEL 097-538-2028	執行建設株式会社 代表取締役 執行 信高 大分市大字田原6番地の3 TEL 097-542-1461	
吉良 圭介	大分市				
大分県住宅供給公社賞		住宅	ZO設計工房 藤井 道夫 日田市田島1-14-29 TEL 0973-24-6436	大成住建株式会社 代表取締役 横山 久雄 大分市弁天1丁目1番23号 TEL 097-533-6666	
江藤 慎誠	大分市				

行政だより

大分市



「大分市自転車等の放置の防止等に関する条例」に基づく 自転車および原付バイクの駐車場(附置義務駐輪場)の 設置について 概要版

指定区域内において、規定する規模を超える建築物の新築、増築を行う場合は、自転車等駐車場の設置が義務づけられています。設置が必要な場合は、建築確認申請に先立ってあらかじめ届出が必要です。

なお、自転車等駐車場の附置義務は平成19年7月1日着工分より適用されます。

1. 適用区域 (指定区域)

○都市計画法第8条第1項第1号に規定する「商業地域」及び「近隣商業地域」、大分駅南地区地区計画の区域 等

2. 適用対象となる建築物 (施設の用途・施設の規模・規模の基準・算定の範囲)

施設の用途	施設の規模	自転車等駐車場の規模の基準	算定の範囲
① 小売店舗、物品賃貸業 (音楽、映像等に係るものに限定) を営む店舗及び飲食店 ※「小売店舗」を新築する場合緩和措置あり	施設面積 400㎡ を超えるもの	施設面積 20㎡ ごとに1台	売場、売場間の通路、商品の陳列窓及び陳列室、承り所、会計場所、物品加工修理場、客席、調理室、待合室、その他これらに類する部分の床面積
② 銀行その他の金融機関	施設面積 500㎡ を超えるもの	施設面積 25㎡ ごとに1台	営業室、待合室、応接室、現金自動支払機設置室、その他これらに類する部分の床面積
③ 遊技場 (パチンコ屋・マージャン屋・ゲームセンター等)	施設面積 300㎡ を超えるもの	施設面積 15㎡ ごとに1台	遊技室、景品交換所、その他これらに類する部分の床面積
④ 専修学校、各種学校、その他技芸等の教授を目的とする施設 (学習塾・料理・生花・舞踏・音楽・書道・工芸教室等)	施設面積 300㎡ を超えるもの	施設面積 15㎡ ごとに1台	教室、講堂、実習室、図書室、資料室、その他これらに類する部分の床面積
⑤ スポーツ施設 (ボウリング場・ゴルフ練習場・フィットネスクラブ等)	施設面積 500㎡ を超えるもの	施設面積 25㎡ ごとに1台	競技場、運動場、練習場、更衣室、浴室、シャワー室、休憩室、観覧席、その他これらに類する部分の床面積
⑥ 映画館、劇場、カラオケボックス、その他これらに類する施設	施設面積 400㎡ を超えるもの	施設面積 20㎡ ごとに1台	観客室、展示室、個室、待合室、売店、その他これらに類する部分の床面積
⑦ 病院、診療所、その他これらに類する施設	施設面積 400㎡ を超えるもの	施設面積 20㎡ ごとに1台	待合室、診療施設、検査施設、会計場所、その他これらに類するもののうち、専ら利用者の利用に供する部分の床面積
⑧ 事務所	施設面積 2,000㎡ を超えるもの	施設面積 100㎡ ごとに1台	事務室、会議室、応接室、その他これらに類する部分の床面積

3. 自転車等駐車場の設置基準

○自転車等駐車場の規模

・自転車等一台当たりの駐車所要面積は、1.2㎡を基準とします。ただし、特殊な装置を用いる場合はこの限りではありません。

○自転車等駐車場の設置場所

・当該施設若しくはその敷地内又は当該施設に到達するために歩行する距離がおおむね100m以内である場所に設置しなければなりません。

○自転車等駐車場の表示板の設置

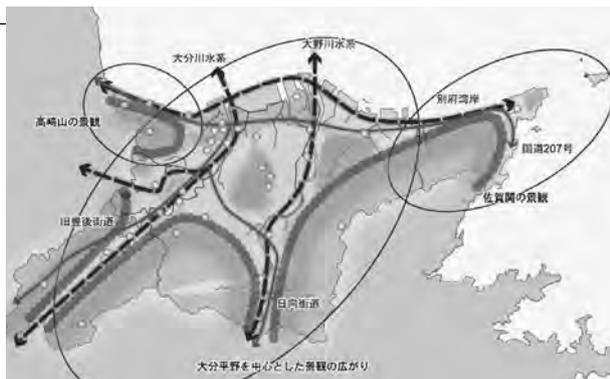
・自転車等駐車場の設置者又は管理者は、当該施設の供用の前にその入口付近の見やすい場所に、そこが自転車等駐車場であることを記載した表示板を設けるものとします。

4. 問い合わせ先

大分市 都市計画部 都市計画課 TEL.097-534-6111 (内)1812・1814

● おおいたの地勢

平野部は大分川・大野川の二水系により形成され、北を別府湾に面し、三方を山並みに囲まれています。両水系に沿っては丘陵山地を背景に谷戸が形成されている一方、平野部には丘陵がせり出し、豊かな緑を提供しています。また高崎山海岸線や、佐賀関地区では山並みが海に迫り、風光明媚な自然景観を形成しています。



我が国においては今日まで、経済性や効率性を重視し、美しさや個性への配慮を欠いた、雑然とした都市景観が形成されてきた反省から、平成十七年六月景観法が制定されました。これを受け、景観行政団体となった本市は、平成十八年九月二十九日に景観計画を公表しました。

「風光り水澄む郷、美しさ薫るまち」をめざして
大分市景観計画を公表いたしました

● 景観形成方針の4つの視点



① “みどりの背景” の保全



② 河川軸を活かした景観形成



③ シークエンス景観を意識した景観の形成



④ 大分市固有の景観をつくる／まもる／はぐくむ

シークエンス景観とは？

歩きながら、車を運転しながら次々と移り変わっていくシーン（場面）を継ぎつなぎに体験していく場合、これをシークエンス景観と呼ぶ。

◆ 景観計画区域における良好な景観形成に関する方針

- ◎ 自然景観の保全
- ◎ 身近な景観の保全・形成
- ◎ 眺望景観の確保
- ◎ 沿道および鉄道沿線の景観の保全・形成
- ◎ 大分市のシンボルとなる景観づくり

◆ 景観計画区域 各地域の特性に応じたきめ細やかな景観形成のために、**大分市域全て**を景観計画区域に指定します。

◆ 良好な景観のための行為の制限に関する事項 (一定の面積、高さ等に応じ届出が必要となります。)

規制対象行為		届出対象とする範囲
建築物の建築等		<ul style="list-style-type: none"> 市街化区域における建築行為で高さ、20m以上または延べ面積3,000㎡以上 市街化区域以外の区域における建築行為で高さ10m以上、または延床面積500㎡以上 大分県沿道の景観保全等に関する条例の「沿道環境美化地区」を対象
工作物	建造物	すべての区域で ・塔状の工作物で、高さ15m以上 ・遊戯施設などで、高さ10m以上又は築造面積500㎡以上 ・製造施設、貯蔵施設、処理施設などで、高さ10m以上又は築造面積500㎡以上
	構築物	・擁壁などで高さ5m以上 ・橋、トンネル、堤防などで長さ20m以上、または高さ5m以上
特定照明		上記の届出対象となる規模を持つ建築物および工作物に対し行われる、特定照明の新設・移設・改設および色彩等の照明方式の変更

規制対象行為		届出対象とする範囲
屋外における物件の堆積		すべての区域で敷地内の合計が堆積規模500㎡以上または堆積の高さ4m以上
開発行為		<ul style="list-style-type: none"> 市街化区域内 : 届出対象外 市街化調整区域内 : 1,000㎡以上 非線引き都市計画区域内 : 3,000㎡以上 都市計画区域外 : 3,000㎡以上
土石の採取		・全市共通 採取面積3,000㎡以上、または5m以上の法面を生じるもの
その他の土地の形質の変更		・全市共通 変更面積3,000㎡以上、または5m以上の法面を生じるもの
木竹の伐採		・皆伐によって行われる木竹の伐採

行政だより

大分県 建築住宅課



建築基準法の改正（石綿規制）について

石綿による健康等に係る被害の防止のための大気汚染防止法等の一部を改正する法律が平成18年2月10日に公布され、施行令、施行規則とともに平成18年10月1日に施行されました。

法改正に伴い、建築基準法第37条の規定に基づき、建築物の基礎等に使用する建築材料並びにこれらの建築材料が適合すべき日本工業規格又は日本農林規格及び品質に関する技術的基準（建設省告示第1446号）の一部が改正されました。

法改正のポイント

○石綿の飛散のおそれのある建築材料の使用を規制する。規制対象建築材料は、吹付け石綿及び石綿含有吹付けロックウール。

○増改築時には、原則として石綿の除去を義務づけ。但し、増改築部分の床面積が増改築前の床面積の1/2を超えない場合には、増改築部分以外の部分について、国土交通大臣の定める基準に適合する封じ込めや囲い込みの措置をおこなうこと。

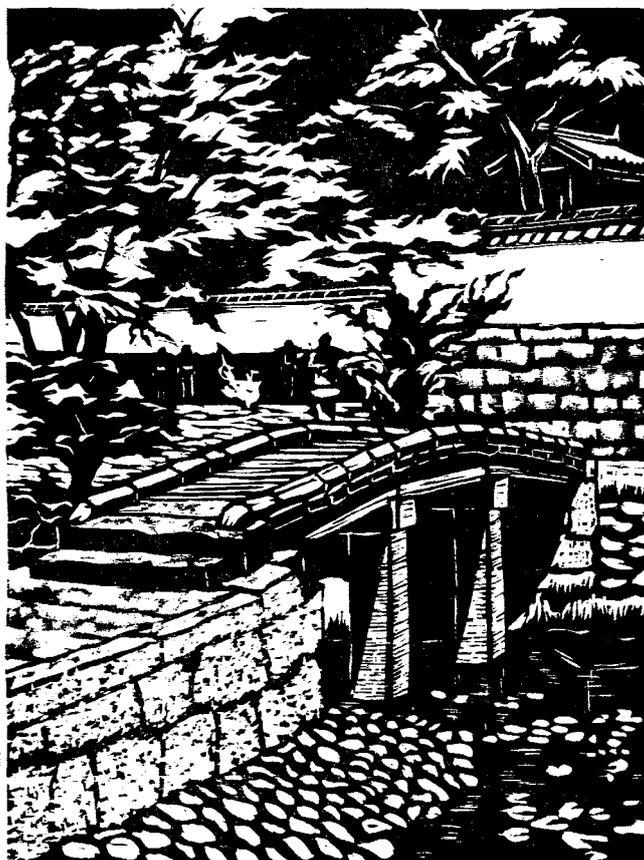
○大規模修繕・模様替時には、大規模修繕・模様替部分以外の部分について、国土交通大臣の定める基準に適合する封じ込めや囲い込み措置をおこなうこと。

○工作物についても、石綿に関して建築物同様の規制をおこなう。

○石綿の飛散のおそれのある場合に勧告・命令等を実施、報告聴取・立入検査の実施。

○定期報告の際に、石綿の使用状況及び耐震診断・耐震改修の調査状況の報告を追加、並びに閲覧の実施。

○封じ込めの措置について、建築基準法第37条第2項により認定された石綿飛散防止剤を用いて固着させること等。



「おたまやの石橋」

に くに 豊利

新 会 員 紹 介

(H.18年9月～12月入会)

支 部	氏 名	勤 務 先 (所在地)	電 話
国 東	光本 久幸	(有) エムバン建築工房：国東市武蔵町麻田2027-2	(0978) 69-0166
別 府	安部 薫	タマホーム(株) 日出支店：速見郡日出町大字豊岡873-1	(0977) 28-1666
大 分	中村 智美	インテリアデザイン事務所 アトリエ・ビス：大分市大道6-6-1	
大 分	長野 賢治		
日 田	今村 華子	日田市教育委員会：日田市南友田町516-1	(0973) 24-7171
中 津	濱野 順治	(株) 白石総合コンサルタント：中津市中央町1-2-35	(0979) 23-0136



AP 「むかしの燃料屋」 C. Kawano



事務局だより

【行事報告】

■第20回サマーセミナー in たけた

日時 平成18年9月9日
場所 祖母山麓体験交流施設 あ祖母学舎
参加 103名

■第49回建築士会全国大会「栃木大会」

日時 平成18年10月20日
場所 栃木県宇都宮市
参加 24名

■「戸建住宅を巡る建築訴訟の現状と対策」講習会

日時 平成18年12月12日
場所 大分県教育会館
参加 34名

【会議報告】

■建築士会・建築設計事務所協会合同会議

日時 平成18年9月7日
場所 事務局
議題 1) 建築基準法・建築士法改正に伴う対応について
2) 支部運営、共同事業について
3) 第32回建築士事務所全国大会(大分大会)について 他

■第3回青年部長・副部長会議

日時 平成18年9月9日
場所 祖母山麓体験交流施設 あ祖母学舎
出席 22名
議題 1) 次回サマーセミナー開催支部決定
2) 次々回以降の開催支部について
3) 平成19年度建築士の集い「大分大会」について

■昇降機特別委員会第3回幹事会

日時 平成18年9月20日
場所 事務局
議題 救出訓練の対応について

■昇降機特別委員会 救出訓練

日時 平成18年9月21～22日

場所 大分市消防本部
出席 30名
内容 大分市消防レスキュー隊員による救出訓練

■まちづくり推進協議会

日時 平成18年10月3日
場所 事務局
出席 5名
議題 1) まちづくり活動支部助成について
2) 行政のまちづくり状況について

■昇降機特別委員会第4回幹事会

日時 平成18年10月4日
場所 事務局
議題 1) 今後の取り組みについて
2) 幹事の退職に伴う後任補充について

■第4回青年部長・副部長会議

日時 平成18年10月14日
場所 大分市西部公民館
出席 20名
議題 1) 各支部活動状況について
2) 防災連絡網の整備について
3) 平成19年度建築士の集い「大分大会」について

■平成18年度「建築士の集い」実行委員会

日時 平成18年10月14日
場所 大分市西部公民館
出席 青年部20名、女性部3名
議題 1) 委員役割分担について
2) 実行予算について

■第4回理事会

日時 平成18年10月27日
場所 事務局
出席 25名
議題 構造判定適合機関の設立について

■第2回CPD・専攻建築士制度特別委員会

日時 平成18年11月7日
場所 事務局
出席 3名
議題 ブロック説明について

■広報・編集委員会

日時 平成18年11月8日
場所 コンパルホール

出席 14名
議題 会誌「建築士おおいた No.98」の発行について

■第1回大分県女性建築士住宅セミナー

日時 平成18年11月11日
場所 日田市
参加 32名
内容 山林・製材所見学、豆田町並み散策

■第3回CPD・専攻建築士制度特別委員会

日時 平成18年11月14日
場所 事務局
出席 3名
議題 ブロック説明について

■総務委員会

日時 平成18年11月15日
場所 事務局
出席 9名
議題 1) 委員長・副委員長の選出について
2) 事業報告及び収支中間報告について

■支部長・理事合同協議会

日時 平成18年11月17日
場所 別府市「亀の井ホテル」
出席 31名
議題 1) 委員会報告
2) 青年部会・女性部会活動状況報告
3) 中間決算報告
4) サマーセミナー報告 他

■編集作業（建築士おおいた No.98）

日時 平成18年11月29日
場所 事務局
出席 6名

■女性部役員会

日時 平成18年11月30日
場所 事務局
出席 9名
議題 1) 住宅セミナーの開催について
2) 「建築士の集い」大分大会運営について

■編集作業（建築士おおいた No.98）

日時 平成18年12月11日
場所 事務局
出席 7名

■編集作業（建築士おおいた No.98）

日時 平成18年12月20日
場所 事務局
出席 3名

【その他】

■事務局職員研修会

日時 平成18年10月27日
場所 別府市「亀の井ホテル」
出席 18名
議題 1) 18年度専攻建築士の募集について
2) 意見交換

【建築士会連合会関係】

■第433回定例理事会・士会長合同会議

日時 平成18年10月19日
場所 栃木県宇都宮市
出席 芳山会長
議題 1) 第49回全国大会（栃木大会）について
2) 第50回全国大会（北海道大会）の開催日程及び大会テーマについて
3) 後援名義等の使用許可について 他

■第46回都道府県建築士会職員会議

日時 平成18年12月1日
場所 東京都
出席 川村
議題 1) 建築士法第22条に基づく建築士のための講習会の実施について
2) 建築士会「住宅検査・保証制度」について
3) 建築士法等の改正及び登録事務等について

■第434回臨時理事会・士会長合同会議

日時 平成18年12月15日
場所 東京都
出席 芳山会長
議題 1) 建築士法の一部改正（案）に伴う中央指定登録機関等について
2) 全国大会時の連合会会長表彰者数の改正について
3) 後援名義等の使用許可について 他

【九州ブロック会関係】

■第2回青年建築士協議会・女性建築士協議会役員会

日時 平成18年11月18日
場所 福岡市
出席 後藤青年部会長、阿南女性部会長、岐部青年部幹事、宇野女性部幹事

- 議題 1) 「建築士の集い」熊本大会収支報告
 2) パッションinふくおか進捗状況について
 3) 「建築士の集い」大分大会進捗状況について
 4) 「建築士の集い」沖縄大会について 他

実受験者数 117名
 監理員 10名 補助員 3名

■会長会議

日時 平成18年12月2日
 場所 長崎市
 出席 沖本副会長

- 議題 1) 平成18年度事業報告・収支報告
 2) 提案に対する質疑・回答
 3) 建築士の集い及びパッションについて

■一級・木造建築士設計製図の試験

試験日 平成18年10月8日
 会場 日本文理大学
 実受験者数 <一級>62名 <木造>1名
 監理員 9名

■九州ブロック連絡会議

日時 平成18年12月6日
 場所 福岡市
 出席 許斐事務局長

- 議題 1) 平成18年度建築士試験の実施結果について
 2) 平成19年建築士試験等のスケジュール(案)について
 3) 平成19年建築士受験申込者想定数について

【建築士試験関係】

■二級建築士設計製図の試験

試験日 平成18年9月24日
 会場 日本文理大学

1. 講習会名称 建築士法第22条に基づく建築士のための講習会
 2. 主催 社団法人 大分県建築士会 ・ 社団法人 日本建築士会連合会
 3. 日時 平成19年3月9日(金) 9:20~16:30
 4. 会場 大分文化会館 第1小ホール
 5. 時間割・内容・講師

駐車場は
 大分城址公園を
 ご利用ください。

時間割	内 容	講 師
9:20~9:25	あいさつ	(社)大分県建築士会 会 長 芳山 憲祐
基 本 編		
9:25~10:10	最近の法改正について	大分県土木建築部建築住宅課 参 事 阿部 光明氏
10:10~11:10	建築士の社会的責務 建築士の契約に関する法的知識 契約と紛争	弁護士 古庄 玄知氏
11:10~11:15	休 憩	
11:15~12:00	景観とまちづくりの現状	大分県企画振興部観光・地域振興局 景観自然室長 末成 祐二氏
12:00~12:50	昼 食 ・ 休 憩	
12:50~13:00	「受講者カード」記入説明	
13:00~13:45		大分大学工学部福祉環境工学科 建築コース 助教授 鈴木 義弘氏
一 般 編		
13:45~15:15	木造建築の最近の動向と課題	大分大学工学部福祉環境工学科 建築コース 教 授 井上 正文氏
15:15~15:25	休 憩	
15:25~16:30	非木造建物の地震安全性	大分大学工学部福祉環境工学科 建築コース 教 授 菊池 健児氏

6. CPD単位 特別認定研修として12単位

集合弊の良し編集作業で
楽しかったぞ。
本年も宜しくお原復い
致します。 ✓

今年も情報発信に
頑張ります! Y.G

初めての経験でした。
これからよろしくお願ひします。
M.I



県南のみなさん ごくろうさまです。
今年もガンバりましょう。 T.K.

楽しい編集作業でした!
今年もヨロシクお願ひします。
M.T.

蒼空翼 お父さんガンバってよ。
T.K.

編集初参加しました。
こうやってつくられて
いるんですね...。
E.K.

広報委員

担当副会長	〈佐賀関〉	川口青史
委員長	〈大分〉	長野保幸
委員	〈大分〉	宮崎隆博
"	〈国東〉	上野貢一
"	〈別府〉	河村靖
"	〈白杵〉	板井登喜雄
"	〈三重〉	岡部達巳
"	〈玖珠〉	穴井和興
"	〈中津〉	富部直一
"	〈日田〉	日高淳一

編集委員

委員長	〈大分〉	笠木忠昭
副委員長	〈津久見〉	竹田光徳
"	〈日田〉	秋和夫
委員	〈高田〉	後藤憲二
"	〈国東〉	菊本軍治
"	〈別府〉	岡田宏基
"	〈大分〉	河野佑美
"	〈大分〉	坪井敬行
"	〈大分〉	飯倉尚之
"	〈大分〉	岐部和久
"	〈大分〉	高山鮎美
"	〈佐賀関〉	川口尚文
"	〈白杵〉	河野惠美
"	〈佐伯〉	寺前嘉二
"	〈佐伯〉	中田智佐美
"	〈三重〉	後藤康仁
"	〈竹田〉	伊東政博
"	〈玖珠〉	佐藤誠司
"	〈中津〉	松下明美
"	〈宇佐〉	奥田和彦

建築士大分

2007. 1 No. 98

(非売品)

平成18年 12月25日 印刷

平成19年 1月 1日 発行

編集/発行所

社団法人

大分県建築士会

〒870-0022

大分市大手町2丁目2-7田原ビル2F

TEL 097-532-6607

FAX 097-532-6635

印刷所/いづみ印刷株式会社

大分市大字下郡字丁畑3119-1 TEL (097) 569-3741

士 楽 豊

おはな

本・支部名	〒	事務局所在地	TEL
高 田	879-0605	豊後高田市御玉199	0978-24-0418
国 東	873-0503	国東市国東町安国寺718	0978-72-2887
別 府	874-0845	別府市大字鶴見字角田3220-3 別府建築士事務所会館	0977-67-4488
本部・大分	870-0022	大分市大手町2-2-7 田原ビル2F	097-532-6607
佐賀関	879-2201	大分市大字佐賀関3068 高島建設(株)内	097-575-0116
臼 杵	875-0082	臼杵市稲田中尾下1000-1 (有)みえのブロック内	0972-63-6695
津久見	879-2474	津久見市大字堅浦421-3	0972-82-1805
佐 伯	876-0813	佐伯市長島町1-3-11	0972-23-6099
三 重	879-7131	豊後大野市三重町市場701-5 ウィリングリービル	0974-22-6606
竹 田	878-0026	竹田市大字飛田川1618-6	0974-62-3711
玖 珠	879-4331	玖珠郡玖珠町大字戸畑3466-1 高倉ホーム内	0973-73-7436
日 田	877-0025	日田市田島1-7-43-1F 102 (有)藤原設計内	0973-24-6022
中 津	871-0024	中津市中央町1-5-24 中津建築会館	0979-24-3597
宇 佐	879-0454	宇佐市大字法鏡寺290-1 服部第3ビル102号	0978-33-3395
本 部	http://www.oita-shikai.or.jp/		
国東支部	http://www18.ocn.ne.jp/~ksikai/		
別府支部	http://www.beppu-yukemuri.com		
大分支部	http://homepage2.nifty.com/k-shikai-oita/oitasibu/		
佐賀関支部	http://www.d-b.ne.jp/sekisibu/		
臼杵支部	http://www.bungo.or.jp/usk_shikai/youkai.htm		
津久見支部	http://www.bungo.or.jp/t-shikai/		
佐伯支部	http://www.geocities.jp/o_s_kentikusi/		
三重支部	http://www16.plala.or.jp/sok-mie/		
竹田支部	http://ww61.tiki.ne.jp/~kentikusi-ta/index.htm		
玖珠支部	http://www18.ocn.ne.jp/~ken-kusu/		
日田支部	http://www.d-b.ne.jp/ken-hita/index.htm		
中津支部	http://kentikusi-nakatu.net/		
宇佐支部	http://www.d-b.ne.jp/usasikai/		

会員増強にご協力を！

～会員二人で、一人の入会勧誘を～
目標3,000人突破



社団法人 大分県建築士会